無産階級戰鬪雜誌

進め

第二年◆八月◆第八號

進め社

第二年第八號大正十三年八月一日發行

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

■國民運動に據る階級戰……岩澤岩
■罷業破りの學生の反省を促す……大山郁夫
■鑛山運動の大勢……麻生久
■レーニンに學ぶ……久原晋二
■集團過程と議會主義の崩壞……三德岩雄
■生るべき無產階級政黨を前にして……島中雄三
最近の感想……勞働運動社會運動學者諸氏
■普選を中心として既成政黨動搖の豫測……久保芳朗
■社會主義は國賊か……佐藤光敏
■文化的秘密結社……田代常二
■大阪市電罷業の眞相……森四朗
■近世社會主義史【一】……春田正

閥を破れ

（1）

政界に閥といふものがある。由來、閥なるものは主義綱領等の下に集つたものではない。何者か羽振りのいい個人（大低は年寄）を偶像に祭り上げて、取り巻き連（大低オベッカ者）がその本尊の有する金力その他の力を利用するものとも見られるしまた、逆に本尊自らが、蟻集する取り巻き連の力を結合して、それを武器に何時までも自分の勢力を維持しようとするものだとも見られる。

（2）

が、それはどちらでも問題ぢやない。權政慾の亡者共の政界での事としては閥こいふ奴もぜひ必要なものだかも知れぬ元來が私有財產制度崇拜のあいつらの仕事であつてみれば、何も閥の存在のみを特に取り立てて問題にしてみたところで所詮初まらぬ話だ。

（3）

以上はブルジョア政界での話だ。權政慾以外に何もないブルジョア政界での話だ。然らば、我々無產階級の戰線に、この頗る輕蔑すべき閥が斷じてないか。その心理に於いて故山縣有朋閥の如きこ少しも違はぬものが無いこ言へるか。無いこ斷ずるも素より勝手であらう。が、しかし、僕等の眼にはそいつがハッキリこ映ずる。堺利彥氏がそれだ。堺氏は日本で有名な社會主義の長老であり雄文の大家であり僕等の先輩だ。誰れやらの言草に依れば大御所だ。更に日本共產黨の委員長であつたこともオシヤベリのブル新聞で僕等は知つた。日本共產黨が何をしたのか、委員長が何人に選ばれたのか、僕等門外漢には雲深い奧底までは知る由もないが、先づ日本のレーニンの地位こ解釋しておいて大した間違ひはあるまいこ思ふ。

（4）

僕等は不幸にして堺氏の門生でも堺閥でもなかつた。從つて或人の言ふ如く堺氏の門に伺はざるが故にニセ主義者なのかも知れない。しかしまた何が幸だかワカらぬもので、幸にして、僕等は堺氏を評價するに頗る自由だ。氏を閥の頭目こ呼ばうが、大きな聲で笑はうが、討閥運動を起して大膽率直なるべき社會主義者間に今や妙に硬化せんこする厄介な傳統的勢力を打破しようが少しも良心に恥ぢないのだ。

（5）

顧れば、堺氏に反抗した青年は過去に決して無くはなかつた。然し、氏の逆鱗に觸れたら最後力の無いものは葬られ、僻派なものは逃避し意地のあるものは曲らざるを得なかつた「兎も角も一人こして氏の反感を買つたもので社會運動からボイコットされぬものはない。何か新しい仕事をやり出す場合、例へば雜誌を出す等こいふ場合、先づ堺氏の了解を求むるを要すること恰は乾兒が元締の盃を頂戴するが如きである。何こいふふき出したくなるような事實であらう。

（6）

「進め」は堺親分の盃を必要こしない。所が堺氏は、實に氏一流の巧みな方法で「進め」への原稿封鎖（これはまた何こいふ素晴しい新熟語であらう――）をやつた「進め」をツブして仕舞はふこいふのだ。が、先きからそう出られれば、こつらも非常に事がやりよいのだ。合憎耶蘇の弟子でない僕等は右の頰を打たれて默つて左の頰を向ける程のお人好ぢやない。それも相手が子供ならば僕等は微笑をもつて報ひよう。併し、ムシツの走る元老こか先覺こか名士こかの而も、老猾家康の如き手段で向はれた場合、そのまま引つこむことは、僕　青年の意地が斷じて許さないのだ。ただ、僕等の恐れるのは、「進め」こいふ片々三十二頁の小雜誌に據る無名の僕等が、天下の名士、堺閥の頭目を向ふにまわしての腕立てを、冷淡に安價に盲蛇人に怖じずこ、一笑に附せられはしまいかこいふことである。極度に緊張してゐる此の眞劍な心持が、安價に一笑されては決してならないこ信ずるからである。これが進め社の最近の決意である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

民衆は忍従であつた。
默々として働く群であつた。
そのとき
民衆は淋しき羊の姿であつた。

されどまた
民衆は大江の水である。
大海へ流れ進まねば止まぬ
大江の水である。
そを止めんとするか!
そのときぞ
民衆は洪水の姿である。

ごんらんの徒よ
特權者流よ
氾濫の前の長堤を信ずるやからよ。
笑ふべし
小羊の姿を見て
洪水の日を悟らず。

國民運動に據る階級戰

○無産階級なる言葉の含む意味を、被搾取と解するは正しい。けれどもそを極限して生産に從事する勞働者のみより成れるものと觀、或は生産方面のみを重視する考へ方は少くも安當を缺く。一升の米にも、一塊の石炭にも或は一束の糸にも賣價が附せられ、而も、そを決定するものは、粗大な言方ぢやあるがブルジョアであつて、當の生産者たる小作人、坑夫或は紡績女工には決定權はおろか意志表示すらも許されない。すると吾々は、物を生産する場合は勿論、物を消費するに當つても强制的に搾取を經なければならぬこと〻なる

○此の關係を今一つ押し擴げると諸種の交通機關教育機關或は病院等まで、吾等の消費の對象物と觀ることが出來よう。山水の美をも消費物の中へ加へてもよい。盛夏八月、炎熱正に百度を越ゆる今日、一部少數の特權者にのみ許されて居る避暑行をバラックの街頭に見せつけらる〻に於ては尙更のことである。私は無産階級の被る搾取といふ事をかかる意味で考へたいのである

○言ふ迄もなく無産階級の使命は搾取絶滅に存する。而して其の切實なる階級戰の一形體に爭議がある。生産者に振りかかる搾取網を破るべき切實なる戰ひである。これをスカップする奴が許し難き吾々の敵なるは改めて言ふ必要を見ない。然しながら吾々の熟慮を要する點は、ブルジョアは、生産者側から奪はれただけは必ず消費者側から奪ひかへすといふ現社會制度の本質である。今度大阪に起された電車罷業はこれとは違ふとしても、同樣の關係を暗示したものと考へられ、特に熟慮を强ひられる。

○そこで、問題としては、生産消費兩面にふりかかる搾取網を切り破るべき方途のみが殘されるのではあるまいか。はつきり言ふと、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○みが殘されるのではあるまいか。

○曾て吾々は過去の出來事として、且つブルジョア政治家等の捲き起した運動として國民運動を記憶する。被支配者としての國民が敢然立つて、時の政府に抗爭する國民的要求の運動である。私は今後の吾々の階級戰にあの運動形體を採り入れたいと信ずる。と共に、言はでもの一言を斷つておけば、曾ての國民運動のあの内容や指導心理を、そつくりそのま〻採り入れようと言ふのではない。第一國民運動は何時もブルジョア政治家の野心に導かるべきものと定まつたものではない。國民運動の内容は國民生活の進化と共に進化すべきもので、しかく個定したものと頭からきめてか〻るのは愚である。

○こ〻では社會主義を指導精神とし國民大衆の生活に立脚せる社會主義經綸を内容としたる國民運動の謂である。日本の現狀は政治的に見ても經濟的に見てその可能性を包藏して居ると思はれるのである。若しも此の意味での國民運動が一切否定されるならば、可能性がないならば、日本何千萬の無産大衆の前途は實に眞黑闇である。(岩澤)

罷業破りの學生の反省を促す

——河田嗣郎氏の議論に對する辯駁——

大山郁夫

一

七月の大阪市電の勞働爭議に際して、大阪市立高等商業學校及び高等工業學校の學生たちが敢然起つて罷業破りの仲間入りをした——といふよりは、寧ろその主働的地位を取つた——といふ報に接したとき、私は何よりも先づ、眉を顰めない譯に行かなかつた。それは、私の感情からだ、と言はれゝば、さういはれても構はない。兎に角、私は、私の感情上からだけにもせよ、それらの學生たちに對して深い輕侮感を起さないで居られなかつた。

と同時に、私は、私の心が或る程度に傷けられたやうにも感じた。それは、先年東京市に同樣の事件が起つたとき、早大の理工科の若干の學生たちが、社會奉仕の名の下に電車の運轉に當つた時に、私が感じたのと同じ種類の感じであつた。あの當時は、私がしばらく早大を去つてゐた頃だつたが、しかし私はそれにも拘はらず、私の心から愛してゐた母校の學生たちが、私の眼には充分劣等なものと映じるところの、あゝした種類の行動に出たことを悲しんだ。けれども、あの頃は、一般の學生たちの社會意識がまだ充分に洗錬されてゐなかつた時だつたので、彼等がさうした間違つたことをしたのも、尚ほ幾分辯解の餘地のないことではなかつた。けれども、現今では、一般學生たちの社會意識の進歩は、當時に比して、同日の談でない筈である。少くとも、私自身は、日頃からさう考へてゐた。ところが、それにも拘はらず、再度の學生の罷業破り事件が、また新に勃發したのである。かねがねから、我國の青年學生の生活を自分に親しみの深いものの一つに算へてゐた私の心の平靜が、それに依つて破られないでゐられなつたことに、何の不思議があらう！けれども、かういふのが、單に一片の感情問題だけに止まるものならば、私には、茲でこれ以上のことを言ふ必要がない筈だ、ともいへる。が、不幸にも、私達は、單に感情上だけからでなく、同時に理論上から彼等學生たちの行動を、極力糾彈しなければならない必要を感じる。一體私たちの感情は私たちの理論とは、さう懸け離れたものではないのである。

兎に角、かういふ譯で、私はこの問題に關して、今は絕對の沈默を守ることが出來なくなつたのである。私は、この際一言罷業破りに從事した學生たちの反省を促したい。殊にかうした問題は將來に於ても、決して稀にでなく再歸する可能性の見ゆるものであることを考へるとき私はさうしなければならない義務感をさへ感じるのである。

二

私は、私たちの理論的立場を述べる前に、彼等學生たちが、彼等自身の理論的基礎としてゐたものを一應檢討してみるのが當然の順序だ、と考へる。ただ私は、彼等が、どういふ調子に彼等自身の行動を理由づけてゐたかを直接には知らない。けれども東京學生聯合會に屬する二三の學生たちが、自ら大阪に出向いて調べたところに依ると、罷業破りに從事した學生たちは京都大學教授の河田嗣郎博士の談として『大阪每日新聞』に出たところの『公益事業』といふ一篇を以て、彼等の行動に理論的根據を與へたものとして、それを金科玉條と見做してゐるといふことである。私は、それを右の東京學生聯合會の學生たちから直接に聞いて、しかも、その言を信ずべき充分の理由を有してゐた。そこで、私は右の河田氏の談片の切拔きを得て、それを讀んだ。ところが、私はそれにも私の腑に落ちない若干の點があることに氣附いた。で私は先づそれらの諸點を列擧してそしてさういふことが腑に落ちない私がわるいか、それとも、さういふことを語つた河田氏がわるいかに關して、讀者諸君の批判を仰がうと考へる。しかも河田氏は、學者としてその意見を述べてゐることであるから、私もその積りでそれに對して單純に理論的及び論理的方面だけから右の談片に現はれた氏の思想なり態度なりを批判してみようと思ふ。

三

河田氏は右の談片に於て、開口第一番に先づ『今回諸地方に起つた電鐵從業員のストライキに關しては、その要求の內容に亘る批評は、それぞれ事情を異にする次第であるから一般的にそれを是非するのは困難である』と述べてゐる。で茲では河田氏は電鐵從業員等の要求の內容に就いては、それに關する特殊事情を基礎にした上でなければ一般的概括論を以てそれを是非することが出來ないといふ意味を述べてゐる譯である。それは當然のことである。學者が個々の具體的問題を評價する際にはそれに附帶する特殊の事情を拔

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

きにして當該問題に對して決定的の審判を發言することを差控へるのは適當な態度である。だからこの點に於て、河田氏の態度を多とする。

けれども電鐵從業員の要求の內容に關して述べられたこの原則は、他の如何なる具體的問題に關しても同樣に適用されなければならないものである。でなければ、河田氏は甚だ學者らしからざる矛盾に陷つたことにならないで濟まない譯である。ところが、河田氏は右の問題に關しては、折角ああした筋道の立つた態度を採りながら、それ以外の諸問題——殊に當面の特殊事情を拔きにした一般論で律しられては、電鐵從業員らが、明かに不利益な立場に導かれるやうな種類の諸問題——に關しては、手の裏を返したやうに反對の態度を取つてゐるのである。

そこへ來ると、我々は單に河田氏の議論の上に於ける矛盾を咎めるだけでは濟まされないで、氏の動機の那邊に在つたかを疑はないで居られないやうな氣になるのである。すなはち、我々は河田氏が該問題の理論的討究を行ふ前に當つて、既に或る成心から出た或る結論を用意して掛かつてゐたのではないかと言ふやうな疑念を起こさないでは居られないのである。

四

私は、私がかういふ疑念を起こしたのも、決して根據のないことではない、といふ事實を、河田氏の右の談片の中からの若干の言葉に依つて證明しようと思ふ。しかし、その前に私は氏の論旨の中の最も主要な箇所だと私に考へられるところの諸點を極度に簡單化して、それらを左に開示することから出發しようと思ふ。

氏は先づ第一に、公益事業の從業員らは、たゞ彼等が公益事業に從事してゐるといふだけの理由で、罷業權を持たないといふ謂はれがない、といふやうな私達にも極めて正當だと思はれる趣旨を述べてゐる。次に氏は電車の如き一般市民の利便と直接に關係のある事業の方面に於ては、從業員らが罷業を行ふ際に、充分愼重な態度を採る『德義上の社會的義務』があるといふ一般論の立場から出發して、今回の電鐵爭議に關して、それに伴ふ特殊事情には一切眼を呉れないで、たゞ單に罷業をした從業員らの態度が突飛であり、不謹愼であつて『男らしくなく』『正々堂々』でなかつたと言つて痛烈に彼等の態度を批難してゐる。更にその次には、氏は一轉して電鐵の從業員の罷業の場合にでも『市民一般が迷惑を蒙るといふだけの理由で、爭議の內容に無關係に、或は經營者に讓步を迫つたり、或は勞働者に屈伏を要求したりすべき筈のものではない』といふやうな、私達にも至極正當だと思はれる趣旨を述べてゐる。だが、氏は直その口の下から一轉して『たゞ市民としては、自己の有する交通機關のことなれば、これを自ら運轉する方法を考へ、豫めその用意をしておくこと等のことをなすより外に途はない』といふ理由で『かゝる非常の場合には市民の中から義勇軍的に電車の運轉をなし得る人々を募つて、これをして市民運搬の任務に當らしむることが必要で、また避くべからざることである』と言つて『經營者に讓步を迫る』ことには無關係だが、しかし一勞働者に屈伏を要求』すること以上のことをするやうに市民に勸めてゐる。しかも氏は、或る特殊の事情の下に於てのみさうせよと勸めて居るのでなくてたゞ漫然といふ『かゝる非常の場合には』といふ言ひ出しで、さう述べて居るのであるから前後の文意から推せば、さういふ場合には『如何なる事情の下に於ても市民は當然さうすべきだ』と勸奬して居るものと受取られるのである。私が前掲の東京學生聯合會の學生たちから聞いたところに依ると、彼等と會談した大阪高商及び高工の學生たちは、電鐵從業員らの主張の理非曲直を問はず端的に、彼等を『市民の公敵』と見做す、といふ在鄉軍人會の檄文に調子を合はせたやうなことを公言して、彼等學生たち自身の罷業破りの行動を肯定してゐたといふことである若し、それが事實だとすると、彼等は、實に、河田氏の右の論旨を忠實に服膺して居たものだといふことが出來るのである。が、最後に河田氏は、その時までに言つたことを全く忘れたかのやうに『私は、今回の如き社會事象は、成るべく當事者をして、これを解決せしむる途を執らしめたいと考へるのである』と言つて居る。

五

以上述べた通りの、河田氏の議論の要旨の中だけにも、可なり重大な矛盾——しかも甚だ學者らしからざる矛盾——が相當に多く發見せられることは、讀者諸君も既に充分に注意せられたことと思ふ。河田氏が、前にも述べた通りに、特殊事情を拔きにした一般論で具體的の問題を是非しない、といふ趣旨を提言したのは、甚だ私の意を得たものである。けれども、氏が、單に電鐵從業員らの『要求の內容』に關してのみその提言を適用しただけで、他の諸問題に關しては、一切それを適用しなかつたのは、果してどういふ譯であるか？そこが、先づ第一に、私の腑に落ちない要點である。殊に、氏が、特殊事情を拔きにした一般論で具體的の問題を評價しようとしなかつたのは、さうすることが特に電鐵從業員らの利益になりさうに考へられるやうな、彼等の生存上の要求

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の内容に關聯する問題に關する範圍内だけに限られてゐたのである。ところが、これに反して、さうすることが、彼等の不利益になりさうに考へらるやうな他の諸問題に關しては、氏は、自由に、任意に、大膽に、無關心に、特殊事情を拔きにした一般論で片を附けようとしてゐるのである。このことが、私の眼にも餘りハッキリと映ずるのであるから、その私の腑に落ちなさが、一層募らない譯に行かないのである。

河田氏が、公益事業に從事する勞働者だとても、罷業權を有してゐる點に於ては、普通の製造工業に從事してゐる勞働者に異つたところがない、といふ趣旨を述べてゐる點は、極めて平凡なことを言つてゐるにすぎないのだが、それでも私は、それが專門家の口から出た言葉として、それに相當の敬意を表する。そして若し、氏の言葉か、そこで止まつて居たのだつたら私はまた、それに滿腔の賛意を表することをさへも、吝むものではない。がしかし、若し、氏のさうした言葉が、次に電鐵從業員らの態度を、特殊事情を離れた一般論で、故意に、そして最も有効に、批難をしようがための準備手段として、さうした公平な態度を裝ふ手だつたのだとすると、それは、私の氏に對する右の敬意を全然相殺して、しかもまだその上に、無限に多額の剰餘を生ずるものになつて終まはない譯には行かないのである。

氏は電鐵の從業員らが、罷業を實行する迄には、經營者側との間に充分なる交渉を重ね、その交渉の餘地の盡きた場合に、始めて最後の通牒を以て、豫め罷業斷行の時日を指定し、經營者側にも考慮の餘地を與へると同時に、一般市民に對しても用意の時間を與へることが『德義上の社會的義務だ』といふ見地から、大阪市及び近郊の電鐵の從業員らが、さういふことをしないで、突如として罷業を決行したのを『正々堂々』でなく『男らしくない』といふやうな痛烈な言葉で罵倒してゐる。

けれども、考へてみるがいゝ！法的に確立された完全な組合權や、罷業權やの保障の下に置かれてゐる譯でもなく、しかもまだそれの上に、例の治安警察法第十七條で始終脅威されてゐる我國の勞働者に向つて、さうした要求が、何の無理もなしに持ち出し得られようか！、のみならず、勞働者らの罷業は、相手なしの相撲ではない。だからその場合の彼等の態度は、これをその相手方である經營者側のそれと比較した上で、始めてその當否が論ぜられ得るのである。ところが、河田氏は、この問題の場合に關して、ひとり勞働者らの『德義上の社會的義務』を問ふだけに無中になつて、經營者側のそれを一切忘却して終まつてゐるやうに見ゑるのは一體どうしたことか？。

それは、餘りに學者らしからざる狼狽さではないか？それとも、氏は、何等かの成心のために、わざとさうした態度に出たのか？私が氏から最も熱心に聞き知りたいのは、何よりも殊にこの一點である。

私がこれまでに得た情報に依ると、電鐵從業員らの態度にしても、彼等が人間であることの結果として、彼等の行動に些かの缺陷がなかつたといふ譯ではないが、しかし彼等も充分に市民の利便のことをも考へ、輿論の批難をも避けようと努めてゐた。私は現に、彼等が市民に檄したビラの一枚を、見本として見せらせた。けれども、彼等があの際あゝした行動に出たのは已を得ないことであつたのだ。彼等の資力の薄弱、市當局の高壓手段、諸新聞紙の盲目的批難、官憲の辛辣なる干渉——かうしたものが、彼等をして、已を得ずあゝした行動に出でしめたものであつた。無論、彼等にも責むべき點があつたらう。しかし、彼等だけが人間以上の存在で、彼等の相手方が皆人間並み若しくは人間以下の存立だ、といふにも等しいやうな論據から、彼等の行動を是非するのは、正しい批判の態度だといへようか？

或る報告者は、市電の從業員らをして、あゝした行動に出でしめたのは、實に市當局者——殊に角電氣局長——だ、と言つてゐた、それは恐らく、激語であらう。しかし、それが何等の根據のない激語だとは、私には、どうしても受取れない。

で、若し私が今までに得た情報が眞を得たものだとするならば、河田氏のやうに、一方に於て、市電從業員らの罷業權を認めながら、他方に於て、彼等があゝした行動——それは彼等があの際に採ることが出來た殆ど唯一の形式の行動——を採つたのがいけない、といふのは『生きるものは勝手だが、空氣を吸ひ、水を呑み、飯を食つて生るのがいけない』と彼等に言ふのと、同じ譯合になるのである。

それは、片手落ちでもあり、殘酷だといへば、殘酷でもある。

けれども、私は、該罷業の局面から遠退いて居る私が得た情報が、必ずしも眞相を傳へて居るものだ、と固執するものではない。のみならず、若しそれが眞相を傳へて居ないものだ、といふことが證明された場合には、私は、今言つたことを取消す用意をさへもしてゐる。けれども、それかと言つて、私は、河田氏が、この場合に、特殊事情を全然拔きにして、恣に一般論を振り廻すことに依つて、電鐵從業員の行動を是非したり、また

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

屬り彼等の「德義上の社會的義務」だけを問ふことに熱中して經營者側のそれを、全然閑却してゐるのを、訝かることを、抑へることが出來ないのである。

六

河田氏は、極めて熱心に、勞働者等の戰ひは「正々堂々」でなくてはならぬことを言つてゐるが、それは一體、何を意味してゐるのか？若し、それが、鬪戰の正しかるべきことを言つて居るのだとすると、それは、何も、勞働者側だけに限つて要求せられるべきことではない。が若しそれが、外觀の立派さに關聯して言はれてゐるものだとすると、深刻な、悲痛な、生活苦から、已むに已まれぬ戰ひを戰つてゐる勞働者側から言へば、「自分達の行動は、芝居がかりの見ゑでするのではない」と答へれば、それで濟むのである。それからまた、氏は「男らしい」とか「らしからぬ」とか言ひ立てて居るが、勞働者側から言へば、公平な裁斷者の體裁を裝ひながら、實は勞働者側だけに對して非常な不利益を齎すやうな言說を發表してゐる河田氏の態度こそ、甚だ「男らしからぬ」ものと見ゑよう。彼等はよろしく、この言葉を、熨斗附きのまゝで氏に返上すべきである。

河田氏は、また「市民が迷惑を蒙る」點を力說してゐる。河田氏の市民は市電從業員ら及びその家族、並びに彼等と連帶感情に繫がれてゐる多くの勞働者らを除外した市民のやうに聞ゑる。が、それはどうでもいゝことにしても、氏が單に「市民」がそれから蒙つた迷惑の方面だけを見つめるだけで、彼等がそれから受けた教訓の方面を見落してゐるのは、こゝにも氏の偏頗な物の見方が顏を出してゐるものと言はなければならぬ。電鐵從業員らは、「市民」にその教訓を與へようがために、あゝした行動に出たものでないことは、言ふまでもない。けれども、その結果から見れば、それは、第一に、彼等（從業員ら）の仕事が如何に直接的に社會的連帶性の上に基礎づけられてゐるかを、そして第二に、さういふ風に直接的に、社會的連帶性の上に基礎づけられてゐる公益事業が、資本主義的經營の下に置かれてゐることが、如何に社會的不安の導火線になり勝ちのものであるかを「市民」にまざ〳〵と體驗させた。無論、さういふ教訓は、河田氏の如き、勞働問題に關する專門家の眼から見れば、今更事新しく學ぶまでもないことであらうが、一般「市民」は、誰れもが河田氏のやうな專門家でないことを我々は忘れてはならないのである。のみならず、この事實の考察は、公益事業に於ける罷業の問題に關する、特殊事情を拔きにした一般論の中へも、當然入り込まなければならないものである。この點から見ても、私は、河田氏が特殊事情に關係のない一般論をして居る場合にも、時として可なり重大なる缺陷を暴露してゐるものがあることを、序ながら指摘したいのである。

河田氏は更に、前にも述べた通りに、一方に於て、今回の出來事のやうな場合には「市民一般」が爭議の內容に無關係に、「勞働者に屈伏を要求」すべきでない、と、正當な一般論を唱へながら、他方に於て「勞働者に屈伏を要求」する以上に強壓的效果を持つ可能性のあるところの「義勇軍」の組織を「市民」に勸めてゐるのである。若し河田氏が「市民」に向つて「勞資兩側の主張をよく調査した上で、その曲が全然勞働者らの上に在ることの見極めがついた場合には、さういふ手段を採れ」といふ風に說いてゐたのだつたならば、私はそれを承服することを躊躇するものでない。私に言はせれば、この場合には、何よりも殊に、勞資兩側の理非曲直を質すことが、一切の先決問題でなければならない。ところが河田氏は、たゞ「かゝる非常の場合には」と言つたゞけで、その他のことには毫も觸れようともしないで、直ちに「市民」に「義勇軍」を組織すべきことを勸めてゐるのである。こゝにもまた、少くとも或る意味の特殊事情を拔きにして、端的に一般論を搔ぎ出して具體的の問題を片附けようとするやうな、氏自身の當初の提言を裏切つた態度が見られるのである。

七

私は、河田氏と何等の恩怨の關係の上に立つて居るものでないから、若し氏の言が何等の社會的影響のないものと見て取つたならば、それにどういふ矛盾があらうが、私は、それに關はりたくないのである。けれども今の場合は、事實はこれに反して、それが堂々たる一最高學府の教授の卓論だとして、世間で相當に——若くは不相當に——傾聽せられて殊に大阪の高商及び高工の學生達の罷業破りの行動の理論的根據とせられてゐることを聞いたから、私は遂に默つて居られなくなつたのである妄言の罪は幾重にもお詫びするけれども、同時に、私は、私の微衷をも酌んでいただくことを要求する。ただ私は、氏の談片として新聞に載せられたものが何かの外のものの間違ひでなかつたかを虞る。けれども、私は氏が或は內心得意になつてゐるかも知れないことを想像こそすれ、氏がそれを氏の談片として紙上に掲載した新聞社に正誤を申し込んだことをまだ聞かないそれ故に、私は、それを眞に氏の議論であるかのやうに取扱つた。が、萬一それが間違ひだといふことが證明されたならば、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

その節は、私は、改めて、お詫する覺悟である。

私は、大阪の高商及び高工の學生たちの罷業破りの行動を批判しようとして筆を執りはじめて、その理論的根據となつてゐると傳へられてゐる河田氏の談片を解剖しただけで、既に不當に多くの紙面を費して、最早これ以上のことが言へなくなつたことを遺憾に思ふ。私は、彼等が、電鐵從業員らの要求の理非曲直を質さないで、直ちに彼等を『市民の公敵』と見做すやうな態度に出で、しかも、まだその上に『市民』の利便を計り、社會的正義を行つた積りで得々となつてゐると聞いた。若しさうだとすると、私は、彼等の批判力の缺乏と、社會的正義を履き違へた彼等の愚鈍さに驚かざるを得ない。私はまた、兩校の校長や教員諸君に向つても、この際大いに反省を促さうと考へたが、そのための餘白も盡きた。で、私は、茲で一應めに彼等のすべての反省を促して、將來に善處するやうにお勧めするだけで、筆を擱くことにする（完）

社會主義は國賊か

佐藤光敏

是を唱ねる一派はお馴染の國粹會の誤連中である。演　會場へでもやつて來て『貴樣達は國賊だ！』と怒鳴り散らす。今度の大阪市電罷業に於ても『國賊を懲せ！市民の公敵を葬れ！』等と專稱市民の穀潰し共は怯擊を張りまくつてゐる。而し國粹會員諸君は云ふに及はず一般社會主義を『國賊』だと思惟してゐる樣な人には一つトツクリ考へて貰ひ度い『國賊！』と云われると直『國民の敵』の樣に思われて了ふのである、そして外國の御用探偵位に思われるのである。寔に社會主義こそ迷惑千萬で大した問題ではないけれ共國民の思想上に多大の惑惑を抱かれる事が甚だ不快とする所である。

『國賊』と云ふからには『國家』乃至『國民』の『賊』と云ふのであらう。そうして國家を滅亡さして了ふと云ふのであらう是れは軍隊内で頻りにポスターで宣傳してゐるのである。國家を滅亡さすと云ふ事は即ち其の國の國家組織を滅亡さすと云ふ方にも取れるけれ共先づ一概に云へは自國をば外國に略奪される事即ち國民一般をも外國の奴隷とされて了ふ事の意味の方が強く印象されるのである。故に外國の味方をする人間を指して『國賊』と云ふ所以であらう。然らば社會主義は果して『國賊』の思想なりや否や將又『亡國』の學說乎否乎を檢討して見よう。

國家は多數民衆に據つて支られてゐる。而して國民なくして國家は毫頭成立し得ない事は判り切つた話である。若し一國の民衆—國家の成員—が國家生成の一成員でないとすれば民衆は『國民』の名稱は與へられない筈ではないか。然し乍ら、現代の國家をして全國民一般の國家なりと云ひ得べくんば社會主義何をか『國賊』と云はるべきか即ち社會主義とは全國内の最大多數を擁する無產階級の幸福を願望するものであつて、寔も國民一般の不幸に導く等は夢にだも想像し得ない所である。彼等は云ふ、社會主義者及勞働者は國家を破壞する者であると。而し是處でよく考へて見ねばならぬ事は此の國家破壞者をば貽む者は誰かと云ふとそれは諸君の擁ぐ資本家共であると云ふ事である。そうして資本家は不斷に多くの國家破壞者又は『國賊』を胎みつゝあるのである。即ち近代資本主義的經濟組織は封建的經濟組織をば打倒して是處に新に資本主義的經濟組織をば成立したのである。而して尨大なる生產機關は國内の總らゆる地方に据ゑつけられた。そうして其處には大多數の民衆が吸集せられて行つたのである。即ち尨大なる生產機關を所有する所の資本家は大多數の民衆をば生產機關の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇場をば遺らへたのである。工場内にて働かされる勞働者は安い賃銀—それはホンの一日の飯を購ふだけの勞貨—で朝から晩迄酷勞されてゐるのである。そうして社會には生產物が充滿すれば資本家は生產機關の運轉をば停止する。それと同時に勞働者は工場が暇なる理由の因に追放されるのである。追放された勞働者は明日から食ふに飯がない去りとて食わずに居れる程人間の身體は思ふ樣になつてゐない生んが爲には絕對に食糧は人間に取つて生存の必須物である。！此處に於て勞働者は資本家を呪はざるを得なくなる。同じ『國民』であり乍ら、滿足に遊んで贅澤に食つて行ける人間と幾ら働いても一日の糧食をも得られない者とが出來る事は即ち一國内の階級的分裂を來す事である。それは鼠の社會へ猫が飛込んで來た樣なものであつて猫は鼠は飽く無き貪慾を滿たす爲に鼠をば喰潰そうとする。鼠こそ飛んだ災難で同じ社會の同胞をば食ひ潰す猫をば呪わざるを得ない。即ち鼠は此處に一致團結して決然・猫に應戰の火蓋を切つたのである。猫から見れば『エ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ゝイ鼠族奴が!」と云つて鼠の反逆をば慣るであらうが鼠に取つては全く命掛けの仕事である。是は猫と鼠に例へた話であつて、實際に於て動物間に同種類の鬪爭は絶對に見られないのである。是れは獨逸の有名な學者が歐州戰爭の際に書いた書物の中に記載してあつたものである。即ち戰爭は同種類即ち人類と人類の鬪爭であるが故にそれは動物間には絶對にないと云ひ而して、人類は萬物の長であり乍、同種類の鬪爭に於ては遙に下等動物よりも劣つた、文明人の野蠻であると云つたのである此の件により、其の學者は暴帝カイゼルの爲に獄舍に縛かれた從つて人類間に於て、而して一國中の同胞中に於て公然と一方の同胞が一方の同胞をば嚙喰し又は搾取する事は實に國家中の悲惱中の悲惱事と云はねばならない。從つて國内の一部少數者は大多數者をば搾取し、而して飢餓に導く事は是こそほんとうの『國民の敵』であり『國賊』と云はずして何ぞや!である。つまり現代資本主義的經濟組織は多くの無産者をば胎みつゝある。そうしてその無産者は只管自己の勞働によりて一日の糧食をば得、日々痛苦と慘鼻の生活の連續を繰返してゐるのである從つて此の大多數の無産者の不平を洩らすのは當然過ぎる程當然である。一部少數者ー資本家階級ーの爲に國民一般大多數者ー勞働者階級ーの虐げられる事はそれは大多數人の國家をば一部少數者ー資本家階級ーの爲に亂されてゐるものであり、獨占されてゐる譯である。即ち云ふ所の『國賊』とは『○○○○○○○○○○○○○○○○○○○』なのである!それは生産機關をば一人の利潤の爲に亂用されて居り、飽く無き搾取の御用として酷使されてゐた結果である生産機關は飽く迄、社會人の爲のものでなければならぬ。更に一人の慾望充足の爲に萬人を殺す事は實に古今東西に通じたる極惡比道の最惡事でなければならぬ。是を倒す者こそ實に社會主義であるのだ!是をば『國賊』呼ばわりは片腹ならぬ兩腹痛しとせざるを得ない。是は飛んだお門違ひでは無かつたゞらうか。若し眞個の俠客ならば『弱きを助け強きを挫く』世の例でも思はぬ事であらう。今の俠客と稱する一派は資本主義的社會組織の影響を受けて『義』の爲ならぬ『利』の爲となつてはせぬか『義理』が『僞利』となり『人情』が時の權力に『忍從』となれば『俠客』も『恐客』となつて了つたんぢあゝるまいか然れ共俺達は飽迄俠勇家を持つて任ずる社會主義者たる事を自任する。然り!幕末明治維新の志士は一部階級の志士ではあつたが、社會主義者は世界人類の志士なる事を宣言するものである。國粹會員の勇士諸君も宜敷く此處に思ひ當つて眞個の大和民族の『國粹』振りを見せて貰ひ度い。それが眞個の『國粹保存』の魂ではあるまいか

吾等は大多數者の幸福を攪亂する一部少數階級　即ち○○○○○○○○○○○。それは即ち國内の騷亂を絶滅するが爲であり、其處(資本主義的經濟組織)より胎れる世界平和の破綻を救濟せんが爲である。現代に於ては『國民』の稱は絶對に言はれない、それは同國内に二つの利害相反した階級の對立あるが爲である『國民』とは即ち共通利害の一致した一地域内の人類の集團でなければならぬ。然るに資本家共より受くる『國民』の迷稱は平に此方からお斷りし度いのである。若し『國民』の名稱が冠せたければ先づ己の『非國民』なるを知つてからの事であ

あ!

我等の目指す『敵は本能寺に有り』我等が『國賊』?彼等が『國賊』?敵は現代資本主義的社會組織にあるのだ!其處より『國賊』?勞働者社會主義者が無數に胎まれる。『國賊』を絶對に無くする事は社會主義者の首を片つぱしから落して行く事ではない。それは即ち現代資本主義○○○○○○○○○○○○○○腫物を切つて根を切斷ざれば其の腫物は永久に無くはならない。其れは遂には全身を腐敗さす事になる。否終まひには身をば殺す事になるのである。

我等は此の『國賊』?の根を切斷んが爲に其の根元たる○○○○○○○○○○○○○○○○それが總て救ふ道であるからである。

然らば、以上の論述に據つて社會主義者及勞働者が、『國賊』に非ざる事が明白となつた。味方を賣る事は味方に取つて最も恐ろしき、最も憎むべき行爲であらねばならぬ。社會主義は自國を敵國――外國を敵國と假定した場合――に賣ると思つてゐるのが、普通人の常識である。其ん麼お目出度い人は最も社會主義の學説を理解する必要がある。

社會主義は絶對に外國との敵對關係は無いのである。敵國を徒らに恐るゝ人は先づ恐るゝ原因を知らねばならぬ。社會主義は其の原理を生活問題に歸す。飛んでもない迷論を吐き出す國家主義者共は自分が食つてる飯は誰が造へて呉れたか位の事は心得て置くべきである。そうして、自分の着てゐる着物は誰が造へて呉れたか位の事は知つて置くべきである。

『國賊』などゝ自分が丸で國家を背負つてゐる樣に思つてゐる人間共は先づ民衆に其の是非を問ふべきである。

何時迄も、自分が國家の代表者であると自惚れてゐる樣な人間は先づ己を知るべきである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鑛山運動の大勢

麻生久

一

全日本鑛夫總聯合會が生れたのは大正九年十月であつた、當時大正八年の勞働運動の勃興期に際して最も活動したのは、足尾、日立、常盤、北陸、九州に根を張つてゐた友愛會鑛山部と足尾釜石に根を張つてゐた大日本鑛山勞働同盟會と、同じく足尾北海道に根を張つてゐた全國坑夫組合と、九州の筑豐に根を張つてゐた坑夫協會とであつた。そして、全日本坑夫總聯合會が生れた大正九年十月は既に是等の組合が其勃興と共に各地の鑛山大資本家と戰つて槪ね暴動化して一敗地にまみれた後であつた。即ち、鑛山勞働同盟會は足尾と釜石に敗れ坑夫組合も亦伊豆の蓮臺寺に敗れ、友愛會鑛山部も日立常盤九州に敗れ、坑夫協會も亦筑豐に敗れた後であつた。從つて全日本鑛夫總聯合會の成立當時に於ては、その主力は足尾銅山、夕張炭山、空地炭田、尾小屋鑛山、香燒炭坑を根據として、筑豐には淺原光吉其他舊友愛會舊勞友會の諸君が散在して奮鬪し、常盤地方は主として舊友愛會の殘黨が轉戰して奮鬪してゐたのであつて、其會員數はなほ一萬近くに達してゐたのである。

その後足掛け五年間の鑛山の運動は筆紙に盡くし難い惡戰苦鬪を續け來つたのであるが、不景氣の襲來は資本家側の經營を困難ならしむると共に勞働者側には極端な壓迫が加へられ、ためにストライキは頻發して、甚だしきは、尾小屋鑛山の如きは半ヶ年間に三度の爭議を惹起せざるを得ざるに至つて遂に組合は崩壞の餘儀なきに至つた。北海道は大正十年度に於て、夕張炭山の大ストライキに次ぐに空知炭田の大ストライキを以てして遂に北海道に於ける組合は總瓦解の止むなきに至つた。僅かに九州に殘れる香燒炭坑も亦大正十年爭議は大暴動と化して遂に瓦解の非運にあひ、九州の鑛山運動は筑豐に於て淺原光吉君等を主體とする潛行運動に餘命を繼ぐの止むなきに至つた。此間に於て常盤には絕ねず潛行運動が行はれたが秋未だ至らずして成功するの域に達しない。昨年秋秋田縣に勃發した、阿仁小坂花岡の大爭議には大に活躍して殊に花岡に於ては大成功をなさしめて全山の組合を設立したのであるが、組合側の餘りに積極的な攻擊に却て敵の策戰に陷り遂に瓦解の止むなきに至つた。本年に入つては山口縣の宇部に組合の設立を見たが、之亦九州の炭坑主等と同盟を結べる宇部の資本家等は巧妙なる策戰の下に一擧して總攻擊の擧に出で、遂に組合は瓦解するの止むなき運命に立ち至つた。

二

要するに今日までの鑛山の運動は、サイの河原の石コツミである。組合を設立すると云ふ事は卽ちこれを破壞すると云ふ事である。斯くの如き現象を生ずる原因は又鑛山運動の特殊の事情に歸因する事が多い。其主要なる事情をあぐれば、第一に地理的の事情である。鑛山は主として都會を離れた遠隔の地にあつて互ひに援助し合ふ事が不可能であり、其運動には多大の運動費を要するのである。而も鑛山の所在地は事實上、資本家の王國であつてその官權も輿論も彼等の意の儘になるのである。第二には鑛山の所有者は都會の多くの工場と相違して日本に於ける有數の資本家であつて强大なる實力を有する事である。例へば足尾に於ける古川の如き、夕張に於ける三井の如き、日立に於ける久原の如き悉く然りである。第三には鑛山勞働者の性質として其運動が必然的に猛烈であり戰ひが徹底的である事である。第四には資本家側が暴力的である事である。その他多くの事情があるであらうが、以上の如き主要なる理由に依つて組合の設立と存續とに就ては非常な困難が伴ふのであつて、設立する事と破壞する事とは間髮を容れぬ間に惹起される。私は多年の經驗上鑛山の組合は二度三度敗れて後でなければ眞に設立されざる事を痛感するに至つた。

三

併しながら斯くの如き狀態は決して日本のみではない。今日國家內の一國家として一大威力を有する英國炭坑夫組合の歷史を繙く時、その初期に於て今日の日本の事情と全然同一の事情の存した事を知るのである。我々は今日幾何もの組合員を有せないけれ共、全國の主要なる鑛山に對しては、こゝ數年間の間に一度は組合を設立しそこには大爭議を惹起し得た歷史を有してゐるのである。而して勇敢なる同志は北は北海道から南は九州に至るまで散在して絕ねざる惡戰苦鬪を續けてゐる事實を握つてゐる。一度秋來る時、(好景氣或は特殊の刺戟例へば普通選擧)これ等の起つて敗れたる鑛山の勞働者は勇敢なる同志と共に起ち上つて組合設立の大運動の烽火を擧げるであらう。そしてそれは必然の事であり、幾多先進國の實例が我々に示すところである。

我々は未だセツセとサイの河原の石コヅミをやらなければならない。そして最後に國家內に於ける國家をつくらなければならない。そして其目的を達するために絕對に必要なものは、同志の不屈不撓な意思と勇氣と而して忍耐とである。そして我々はそれを膽に銘じて知つてゐる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

レーニンに學ぶ

——昨今の日本の社會運動に鑑みて——

久良晉二

マクドナルド組閣し、レーニン死し、無産階級運動轉換の聲高い今日、飜譯的模倣的傾向を有する日本人にとつて、それは興味ある事實であらねばならぬ私は昨今の日本の社會主義運動の傾向に鑑みて、レーニンの面目を最もよく示す新經濟政策を論じ、それを通じて日本の無産階級は彼に何を學ぶべきかを考へ度いと思ふ。

レーニンが採つた新經濟政策に就いては、毀譽樣々なものがある。或る者はこれを以て最も正しき政策となし、また或る者はこれを資本主義への復歸と見做して共産主義の實現不可能を論じやうとする。知らずレーニンは之に就いて如何なる考へを持つて居たであらうか。

彼の考へに依れば、國家資本主義を以てロシアの現狀に最も適當なものであるとする。今日ロシアの經濟組織はさまざまな要素から成つて居る。家長的な土地所有の制度もあれば手工業も榮て居り、封建的經濟組織は尚可成り重大な部分を占て居るロシアは未だ資本主義の發達十分ならざるにプロレタリアが政權をとつたと云ふ現狀である。斯る狀態の下にあつては社會主義的政策よりは國家資本主義的政策を採用しなくてはならぬ。國家資本主義を通つて社會主義へ進まねばならぬ。さればレーニンは革命前に既に、ロシアの經濟狀態では先づ國家資本が採用されねばならぬ、と論じて居たのである。

社會主義共和國と云ふロシアが新經濟政策を採用して國家資本主義を發達させなくてはならないと云ふのは、それは確にロシアの悲哀である。けれどもそれは經濟發達の遲れて居る以上どうすることも出來ない悲哀である。經濟發達の跳躍は許されないのである。資本主義の一大特徴は大量生産である。それが社會の生産力の進歩に貢獻したことは忘れることの出來ない功績である。社會主義の特徴は云はゞ資本主義に依つて增大された生産力をその社會的効用に照らして整理して行くにある。然るにロシアの現實の急務は生産力を進めることにある。整理でなくて生産である。ロシアには尚工業が興らねばならず、商業が榮ねばならず、その富源は開拓されねばならぬ。そのために新經濟政策は採用されねばならぬ。

レーニンの採つた政策は正しい。夫はロシアの現實に卽して居るからである。如何にも夫は或は資本主義への復歸乃至資本主義への降伏とも見られよう。然しそれは單なる復歸單なる降伏ではない。そこには出來るだけ短日月の間に生産力を發達せしめ以て社會主義に導かうとする意識的且組織的の進行がある單なる資本主義の如く利潤を追求するの結果生産力の進歩となることは異なつて、生産力の進歩のために先づ國家資本主義を採用し、生産力の進歩を計りつゝそれを意識的に整理して行かうとする努力がある。新經濟政策の採用は資本主義への降伏でも無く共産主義の實現不可能を示すものでもない。それは實に社會主義の理想たる共産社會に達するロシアの眞のリアリステックな行き方卽ち科學的進行方法——換言すればこれこそが眞の科學的社會主義なのである。

而してレーニンの偉かつた點は實に此處にあつたのだ。

人類社會の進化の一樣式としてこの顯著且特異な例を示して呉れたこのロシアの指導者レーニンは今や亡し。而して今又英國に於て貴重なる一樣式は示はれようとして居るもの〻如くである。そして今や日本に於てはロシア風模倣の自稱共産黨の勢信は全く衰へ、英國風の日本フエビアン協會や勞働總同盟が勃興して來たかの觀を示して居るこの時に當つて我々はレーニンに依つて何を數へらるべきであらうか。

私はレーニンに依つて我々が數へられることはその國の現實に卽せよと云ふことだと思ふ。降伏とまで非難されても、ロシアの現狀は國家資本主義でなくてはならぬと云つて、敢然としての經濟政策を採用した態度だ日本の無産階級も、恰も蜂の蜜のありさうな所に集まる如くに昨日はレーニンに行き今日はマグドナルドに行く模倣的飜譯的な態度を捨てゝあるがまゝの日本に卽して行かねばならぬ。これこそが社會主義社會を確實に且速かに齎らすべき唯一の方法であるのだ。

その國の社會主義運動が單に他國の社會主義運動を摸倣した理論、隨つてその國にとつては空想的部分を含んだ理論に據つて居る中は、決して民衆の間に實際的勢力となり得ない。一國には一國の多かれ少かれの特異性がある。その特異性は資本主義社會より社會主義社會への展開に於ても、その社會學的作用を及ぼすものである。之を無視して徒らに且得意然と擬似共産主義を高唱し 擬似フエビアンニズムを高唱して民衆に臨む者ありとしたら、それは間違もなく空想的社會主義者である。

我々は先づあるがまゝの日本殊にあるがまゝの日本の經濟生活そのものに思ひを潛めねばならない。

自分は昨今の日本の社會主義運動に鑑みて、而してレーニンに省みて、殊にこの感な深うするものである。(完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

集團過程と議會主義の崩壊
――政治行動論の一基礎――

三徳岩雄

一

最近の社會現象若しくは、政治現象の顯著なる特異性はそれぞれの諸集團の構成、成長、離合、集散の過程の――一と口に云へば『集團過程』の、加速度的進捗と云ふ一事實である。そして、それはまた、明かに現在の社會生活者の國家政治（卽ちブルジョア政治）の上に於ける一つの新なる政治的生存表現の傾向を、それ自身指示するものでもある。

勿論、右の政治的生存表現の新傾向が、それぞれの諸集團の依據する集團的階級的利害關係への一般的意識化、及びそれと現實の『政治』との不均衡的交錯關係――もつと適切に云へば相反的關係――に對する眼醒めと云ふ様な事實によつたものであることは云ふまでもない。

がこれらの諸問題卽ち集團過程の發生の原因に關する詳細の探究は自から別に一個の獨立の論文を要するものである。で今は、これを他日に保留して、茲では只、それが持つ本質的特徴及び、その特徴の外部的展開としての諸影響、並にその將來への展開の方向を、極々簡單に述べたこと丈けにする。

現在の社會生活――政治生活を含めての――一傾向としての集團過程の從つて政治的生存表現の新傾向の本質的特徴は、これを手短に云へば、各個の集團が、それ自身の特殊目的乃至利害の直接的表現を主張することに在る。またそれは、それの關する範圍内に於ては、完全なる自治――利害關係それ自身の獨立性及び不可抗性の主張と、執行機上に於ける自治を含めての――を要求する。それは、それ故に形式的な、ファクトツームな主權絶對國家に勇敢に反對する從つてそれは、あらゆる利害關係を只唯一體の組織形態下に包括しようとする。而も單なる空虛な『饒舌の增殖』に過ぎないオムニコムペテント、パーリアメントを眞向から否定する。

かくて、それは現在の階級的ブルジョア國家　議會　政黨及び議會主義に極力反抗する。

これらの集團過程の根本的特徴か、直ちに、それぞ＼の集團に屬する社會的個々人の現實の『對政治態度』の變革を招來するものであるとは必然である。これを中心として、右の政治的生存表現の新傾向は、活潑に現在日本の政治過程の上に殆ど劃時代的な諸影響を投げつけた。

そして、集團過程の進捗の事實が、したがつて各利害的集團の政治的生存表現の新傾向か、――その本來の特徴の外部的展開の當然の歸結から――被支配階級としての無産階級の諸集團の内部に於ては勿論のこと、完全なる『支配力』と組織的『陣列』とを有する支配階級の諸集團の内部に於ても、活潑に展開して居ることは、集團現象の政治的意義を認める者にとつては最も注意すべきことであれば、また興味あることでもある。

勿論、右の支配階級の諸集團の内部に於ける各個の利害關係の對立、抗爭等の關係の實在はそれが直に、支配階級諸集團の階級的分裂と云ふことを意味するものではない。それ許りではなくそれらの各個の諸集團は被支配階級としての無産階級軍に對する階級的支配の擴大、維持、持續等の一般的共通利害關係に直面しては常に階級的な横斷的連結によつて、無産階級諸集團の陣列組織に逆襲的に挑戰し肉迫して來ることは事實である

二

最近の我國の政界に於ける政治的變調の根本原因は、實に右の新なる政治的生存表現の外的方向への組織的展開としての『集團過程』の事實に一切を負ふものである。

諸都市の中、小ブルジョア階級の特殊利害を、より有效に、直接的に政治上に表現せんとすることを、その目標に置いた實業同志會の結成、政友會の分裂（都市商工業代表者對地主側代表者との反噬）農民黨（中小地主側）組織の奔走等の諸事實と被支配階級としての無産階級内部の諸集團、卽ち都市勞働者、農業勞働者、官業勞働者、水平社、有識無産集團等の政治的生存表現の集團的活動――別言すれば、階級それ自體の政黨構成及びその運用に關する諸政策の設定への準備、議會利用等の政治行動是認の態度への方向轉換の諸事實とは、ともに右の集團過程の、現實政治現象に對する諸影響の顯著なる事例である

勿論右の事實に關しても、前述の通り、各個の諸集團が先づ階級的に橫斷的連合の傾向に向つてその一歩を歩み出してゐることは事實でもあれば、また、無産階級内部の諸集團にとつては少くとも當面の急務として、それらが無産階級共同戰線に結合されることは、必至的に絶對的に必要でもある。

三

右の如く『集團過程』の驚くべき昂進の事實が、從つて、新なる政治的生存表現の運動の急速的展開が、相當に甚大なる諸影響を與へたのは、現在の既成諸政黨、議會政治、及びブルジョ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ア議會主義に對してであつた。このことは、しかし、極めて當然のことでもある。

　前に掲げた數個の實例は、いづれも皆一樣に、その結論に於て、現在の既成諸政黨、議會政治、及び議會主義に對する全的不信任乃至それへの積極的對抗を意味するものであり、また一方に於て、それは各個の集團の各々の特殊利害關係を特殊的により有効に政治的に主張し表現せんとする彼等自身の新なる政治行動論から出發したものである。

　いま、これらの諸點に就て、特に、現在の集團過程が、そしてそれらの必然の傾向としての政治的生存表現の運動が、少くともその當面の目標を的確に現在の議會政治への反抗、抗爭、對立の一點に置いてあることの徴證從つて、それが明かにブルジョア議會主義への全的不信任を指示するものであり、結局は彼等自身の別個の政治行動論を勇敢に主張してゐるものであることの徴證を擧げる爲に、今少し、前掲の實例を引用して見る

最近に於ける我國の既成諸政黨の離合集散、若しくは諸政黨の煩悶動搖は、實にそれぞれの諸政黨――いづれも皆、金融業者、商工業者、地主閥等を含む支配階級諸集團の利害關係を一まとめにして代表　若くは代辯してゐるものである――の背後の諸集團の不平動搖を反映してゐるものである。

　右の不平動搖が政友會分裂の素因でもあれば、また憲政會の過去の逡巡的態度の源泉でもあつた。

　しかも、右の諸政黨による利害關係の組織可能乃至それの表現の確實性の圏外へ有利に仲間入りが出來ないことを自覺したところの中・小ブルジョアの諸集團は、斷然彼等と絶縁することに依つて、彼等の特殊利害關係の直接的表現を企圖するに至つた。そこに實業同志會結黨の政治的意義が窺はれる。

　この點に來ると、後者は、前者の場合に於けるが如き、單なる既成政黨への批難の聲から一轉して、直ちに既成政黨の否認若くは、現在議會政治の組織及び運用に關する批難の方向へ展開した來るものである。

　勿論、この一點は實業同志會の成立の根本動機から推論した一つの將來への傾向を述べたものであつて、現實の實業同志會の個々の行動そのものとは、直接の交渉のないものであるとを特に斷つて置く。

　それは兎角、ブルジョア階級內部の諸集團の集團構成、成長及びそれら諸集團の爲の相互的交渉關係が、彼等の個々人の若しくは全部の意識すると否とを問はず、現政局の上に異常の影響を投げかけつゝ、その政治的生存表現を露骨に主張してゐることは、しかも、それが在來の議會政治への否認乃至不信任的態度を採つて表れてゐるとは、一種の皮肉なる現象でもあれば、また我々の殊に政治過程の將來の方向を探究する者の決して見逃してならない重要な政治現象の一つである。

　集團過程の急速的な昂進によつて、それ自身の意義と、その特徴を政治現象中に明瞭に具象化しつゝあるものは、從つて、その獨自の政治的生存表現を政治行動若しくは對政治態度の上に立脚して在來のブルジョア諸政黨、議會及び議會主義に眞向から挑戰してゐるものは、無産階級の諸集團である。

　勿論この無産階級の諸集團の近年に於ける際立つた集團構成の過程、乃至政治的生存表現の熱意の加速度的昂進に關してはいろいろの諸原因が數へられるが、これを手短かに云へば、彼等の階級的成熟の漸層につれての集團意識への眼醒めと云ふ事實に歸することが出來る。そして彼等のこの眼醒めは、最近の世界的傾向としての「新らしき現實の展開」の刺戟と共に、曾ては、彼等が「政治の否認」と云ふ言葉で云ひ表はされてゐた態度――それは、この言葉が示す通りの意味とは全然正反對であるところの、矢張り一種の政治的態度であつた――や政治的表現の樣式やから必然に彼等をして政治行動是認への態度に押し進めて來たものである。

　今年に於ける勞働總同盟の全國大會の宣言は右の事實の必然的變移としての我國無産階級諸集團の對政治態度や政治的生存表現やの上に於ける根本的革命の到來したことを如實に反映したのである。

　かくて、彼等の政治的生存表現の新傾向が、在來のそれと全然別個のものであり、また、それが現在のブルジョア議會及び議會主義の相反の立場を採るものであることは、自ら明瞭であらう。

　近來の無産階級政治行動論の主要部分を形成してゐるところの「議會利用論」も、結局は、右の政治的生産表現の新傾向が必然に招來したところ彼等の積極的對立に關するテクニックの問題であり、その意味に於て我々に有意義である。

　要するに、現在の「集團過程」が惹起した政治的生産表現の新傾向が、明かに、ブルジョア議會主義崩壞の方向を指示し、促進せしめつゝあることは、拒むことの出來ない事實である。

　と同時に、彼等がそれに對して積極的に主張し表現せんとする政治的組織若しくは機構が如何なる形態を採るか？それは、何に基礎づけられなければならないか？これ等の問題に關する考察はこれを「政治行動論の一基礎」の主題の下に次號以下に於て述べることにする。

（一九二四、七、一七）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生るべき無産階級政黨を前にして

島中雄三

■

無産階級の立場に於ける合法的政黨の、近き將來において必ず出現するであらうことは、現下の大勢より推して何人も疑はぬところである。殘るところはその時期の問題である。その構成要素の問題である。その掲げらるべき綱領の問題である。そして此等の問題に關しては、今や各方面において、多くの同志によつて熱心に研究せられつゝある。

今日となつては、政治運動の必要を彼れ是れ言ふのは最早時代遲れである。從つて、政黨組織の問題に關しても、根本的にその必要不必要を論ずることは殆ど無用の業である。而も現實の問題として、如何なる種の政黨が事實上可能であるかを考察する時に、それは飽くまで合法的政黨でなければならぬといふことが、常識の上から容易く何人にも推斷される。然る時、所謂政治運動も所謂政黨組織も、單なる一般問題ではなくして、「合法的」なる形容詞によつて局限されたる政治運動となり、政黨組織となるのである。そこで議論は岐れなければならぬ。同じく政治運動を主張し政黨組織を論ずる人々のうちにも「合法的」なる政治運動、卽ち主として議會運動に伴ふ或種の危險を豫想するところから、進んで之に加擔せず、むしろ消極的否定の態度に出でようとする人も仲々に多い。コンミユニストの立場からすれば、それにも一應の理屈はある。しかしさういふ理屈に拘泥して、故ら少數の陣營に立て籠り、大衆の組織的活動に眼を塞いで自ら世を狹うする消極的態度は、賢明なるコンミユニストの戰術である筈はない。そして此の點に關しては、レーニンの下の言葉を承服することによつて、今や多くのコンミユニストに左までの異論なきところであらう。曰く「反動的議會を利用する困難な事業を要求することによつて、革命の目的を達しようとするのは、全く子供らしい考へである。新社會を作らうとするには、反動的な議會の中に、〇〇〇」と。また「無産大衆の頭にしみ込んでゐるブルジヨアデモクラシーの議會的偏見を打ち破るために、最も有効なる鬪爭を行ふ好適の場所は、ブルジヨア議會の眞中より外はない」と。

我々は、日本の無産階級の政治運動が、必ずコンミユニストの戰術から割り出されなければならないものであるとは考へてゐない。反つてコンミユニストの戰術が日本の現實の諸勢力に應じて、適當に修正され補足されなければならないものであると信じてゐるものである。而もレーニンの我々に殘した敎訓と彼等がロシアに於て陷した經驗とは、何等の修正なしに、我々をして合法的なる議會運動の日本に必要なることを知らしめる。よしそこに多少の危險はあるとしても、危險を恐れて攻勢的態度を回避するのは、觀念的遊戯に滿足する似而非コンミユニストの事である。斷じて誠意あるものゝ態度でない。

が、一般的にいへば、比較的目覺めたる少數分子を除いては、眞の政治運動の意義に徹底して痛切にその必要を感じてゐるものは、無産大衆の中にも、組合勞働者の間にも、割合に少いのは事實である。また實際、さう澤山にある筈もない。一般はたゞ漫然として、ブルジヨア既成政黨に對立する無産階級的政黨の出現を希望し、之によつて自家の利益と權利とを制度の上に確保せんとするに過ぎない。それが將來社會の建設に當りて如何なる任務を帶ぶるものであるが、それが無産階級解放の上に如何なる歷史的の使命を擔ふものであるが、それが社會主義革命の過程に於て如何なる意義と價値とを有するものであるか、等に關して、明確なる意識を持つためには、尙ほ多くの敎育と經驗とが必要でなければならぬ。而も自家階級の利害を政治的に表現せんとする要求は、それだけで既に十分一個の政治的勢力である。之を結成して正しき針路と方向とを與へ、之が要求の貫徹に向つてその勢力を利導することは、大衆の前衛を以て任ずるものゝ當面の責務でなくてはならぬ。今日無産階級政治運動が、あくまで合法的、組織的であると同時に、その構成の包括的、清濁併呑的であり、その色彩の革命的であるよりも改良主義的に、社會主義的であるよりも自由主義的であらうとするのは、それが少數前衛の滿足を買ふ所以ではないにしても、現在階級成熟の程度に於て、必然決定せらるゝ運動形態であるとすれば、之に從ふことを外にして彼等の運動はあり得ない。所謂方向轉換の危險の如きは、極めて少數の前衛分子にとつてこそ問題とはなれ、一般大衆を組識の第一歩へと導くためにあらゆる努力が拂はなければならない現在において、殆ど齒牙にもかくるに足らない杞憂であることを知らねばならぬ。

■

さて、無産階級政黨組織の問

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

題は、今や机上の論議から離れていよ／＼現實の問題となつた。さうなつて見ると、之が準備として攻究されなければならない關係が頗る多い。而もそれは、實際の運動であるだけに、露西亞や英國のそれらを書物の上で調べ上げただけでは何にもならない。現實の日本の社會的環境、國家的構成、經濟的事情、歷史的地理的傳統的の諸要素から、微妙な民族心理、國民的感情、それを支配してゐる諸勢力の狀態など、十分綿密に調べ上げた上に、冷靜なる客觀的考察を施して、初めて決定さるゝところの問題である。從つてその研究の對象たるものは、學理ではなくして生きた社會の事實であり、その調査の範圍は廣く且複雜を極めてゐる。アナとボルとの喧嘩口論に浮身をやつしてゐた時代の輕浮な態度では、到底及びもつかない眞面目な事業である。我々は此の點からだけでも、所謂政治運動への方向轉換を以て頗る喜ばしき傾向であると考ふるものである。それは從來の無產階級運動者が、觀念的遊戲より一步現實へと目覺めたことを意味するからである。そしてその事は直ちに、日本の社會運動勞働運動が、少數前衞の運動から離れて全大衆の組織的勢力となることを、確實に保障するものでなければならぬ。勿論、最後の決定的勢力たるものは、少數の尖銳分子でなければならぬことは私も認める。同時に、少數尖銳分子をして遺憾なくその任務を遂げしめるためには、背後に之を支持するところの全大衆的組織がなければならぬ。政治運動は、此の大衆の組織を促進する上に於て、最も必要なる運動である。否、唯一の運動である。我々は、差し當つての政治運動の目標を、主として之ゝに注ぎたい。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇が、それは、組織が出來てからの話である。全大衆の政治的勢力が、一つの政黨の形に結成されて、初めてこの可能が豫想され得る事柄である。既に大衆の組織であるが故に、無產階級の政黨は、それが如何に組織せらるゝかに拘はらず、之が準備として取らるゝ一切の計畫と行動とは、普く大衆の合意と協力との上になされねばならない。あらゆる階級層の要求に基き、衆知を集めてあくまで愼重なる討議の上に、自然一定の針路が定まる底の遣り方でなくてはならない。そこに眞のデモクラシー、眞の無產階級政黨の本領があるのである。四五の代議士が議會に出て、待合の奧座敷で相談して、忽ち何々黨といふやうなものが出來上るのを、所謂政黨だと心得て居るブルジョア政治家乃至は、さうした政黨を政黨と思ひ込まされてゐる一般世人には、或は、此ういふ面倒な經路を取ることに對しての不滿と焦燥とがあるかも知れない。けれどもかういふ經路を踏むことによつて、初めて政黨らしき政黨が生れ得るのであることを知るならば、いくら面倒な手續きでも忍耐して之を踏まねばならぬ。かくして調査すべきを調査し、研究すべきを研究し、知識なきところに知識を移入し、組織なきところに組織を促し、漸次大衆に及ぼすことによつて、やがて全階級的なる一乃至三四の政黨が組織さるゝであらう。時期の問題、綱領の問題、構成案の問題の如きは、今後熟議の上に於て決定さるべき問題である。

■

私は、政黨組織の必要を痛感するにおいて人後に落ないものである。一日も早く期待するところの政黨の出現せんことを望むは言ふまでもない。が、同時に、それの準備として、廣く同志の協力の下に爲されねばならない幾多の仕事の、意外に多く殘されてゐることを閑却する能はざるものである。近く成立を告げた政治研究會は、此の意味で最も有意義なる、また最も機宜に適した企てゞあると信じてゐる。更に之に參加し協力することを以て、苟くも無產階級運動に志すものゝ當面の大いなる義務であると考へてゐる。小さな感情に囚はれ、行き掛ゝりにこだはつて、故に運動の前途に障碍を醸す如きことがあつては、無產階級の名のために恥べく悲しむべき限りである

編輯者申す

地方の讀者諸君から「政治研究會」はどうしてゐるだらうといふ意味の質問が澤山に本社へ來る。稀には皮肉つた不快なやつも來るが大體に於て、その前途に非常な期待を懸けての眞劍な問合せである。僕達は、そういふ問合せに對して、何とか滿足のいくような答へを「進め」誌上で發表したいと實に思ふ。のだけれど「政・研」には別に發表機關もあることだし、出過ぎた眞似は遠慮せねばならぬと思つて見合せて居る。併し、六月二十九日政黨樹立の前提として既に社會に名乘りを揚げ、現に全國的に健實な運動を開始してゐる以上僕達も、その運動の幾分かを擔ふの意味で、政黨問題の爲に多くの誌面を費したいと思つた。それで創立委員の島中、青野、鈴木の三氏に同問題の執筆をお願ひした。三氏とも快諾せられたが、青野、鈴木兩氏のは締切に間に合はず、島中氏の此の一篇のみを拜受するを得た次第である。

最近の感想

□ 山崎今朝彌

最近バカに多用で、一枚の新聞を覗いてザラにある色々を見出す程精讀するヒマかなかつた。昨日福田社長殿が來てソンナ筈はない筈だと家探しをされた結果、種が擧つて、端緒が屆かなかつたとも云へなくなつた。で今敗けて來たばかりのホヤ〳〵といふ裁判の感想を空地の存ずる限り一つ書いて見よう。決してマケたから言ふではナイ。

裁判は目下東京で流行の所謂總同盟案の契約書効力問題であつた。實は僕はアノ書式は初めから知つて居たが、今は『文藝戰線』でも『勞働運動』でも發表されたから、モウかくすは返つてよくあるまゐ。あれに對する僕の批ナンは世間のとは違ふ僕は只資本家をして、コレは總同盟の文案書式によつて作つた有効契約書である。會社資本家は毛頭責任が無いのだと公然威張つて抗辯させ、世間や裁判官を成程とウナズカせる樣にしたが惡いといふだけだ。がコレもまだよい。がコレカラがホントに心配になる。

諸君が素人で何も知らずヤつて惡かつたとカンタンに泣いてクレヽバ笑つてスム事だが、モシ非を通す爲に少しでも理窟をいふと、其理クツは皆資本家に應用される。僕は又其無理に對して南葛の〇〇〇柯公の〇〇〇對すると同樣憤慨しなくてはならなくなる。殆んど十分の一だが空地が終るから十分にして貰はう。

□ 山川均

最近に最も强い感銘を與へたものは、大阪市電の爭議であります。今も尚ほ封建時代の主人が召使ひに對すると同じ考へを抱いてゐる傭ひ主（市當局者）や、帝制時代のロシアの官僚と同じ心理狀態にある警察や、ブルジョア社會の『木鐸』たる新聞紙、さては煽たてに乘つて公益づらをして飛び出した一知半解の學生までが寄つてたかつて勞働者を——昨日までは彼の所謂『公益』のために汗みづくになつて働いてゐた筈の其の勞働者を——弱みに附け込んで蹴つけたり踏んだり唾を吐かけたり、めちや〳〵に打のめした此の爭議は、日本の勞働運動史の上に永久に記念せらるべきものであり、日本の勞働階級の頭のうちに、永久に銘刻せらるべき事件であります。それはこの短い答案のうちには、千分の一萬分の一をも書き現すことの出來ない、大きな感銘を吾々に與へた出來事であります。

□ 高田和逸

資本主義の社會を構成する要素が、寧ろ原則的に非道のものであり、不埒千萬な奇怪極まるものでありますので、其れから生れ出る出來事は多くの場合、總てが、醜態であり矛盾であり皮肉であると觀ねますから別して申し上げることもありませんが、殊にこれらの資本主義社會の惡を征服して行かうとする社會運動者の人々の中に、かへつて、此の醜態を演じたり、此の矛盾を踏んで行く人を見たり、或は家の子郎黨を引具して、天晴れ社會主義王となり濟ましてゐる等の類のあるのを見たり聞いたり致しますが、有るべからざることの有る資本主義の世の姿とは云へ、そうした事を否定する人々のやる事だけに、可成りな皮肉のことに思はれます。

□ 加藤勘十

虛僞、卑劣、陋猾、あらゆる醜惡なる形容詞に包まれたる事相は、資本主義社會の世相であります。これ等の事についてはまう慢性化してゐまして、別段の感想も起つて參りません。

が、只一寸大きいと思はれるストライキ若くは、勞働者の運動に對し、直ぐに在鄉軍人だとか、青年團とか、甚だしきは學生連に至るまでが、ヤレ市民のためだとか、ヤレ公安のためだとか、と稱して、ストライキ破りに飛び出すことは、如何に支配階級、資本階級の宣傳が彼等の頭に深く喰入つてゐるかと云ふ事を、語るものであつて、彼等の說に從へば、勞働者は、市民のためだとか、公安のためだとか云ふ抽象名詞のために、久遠の奴隷生活に甘んじなければならないことになる。時には餓へて死ぬまで公安のためだと云ふやうなことのために、我慢せなければならないことになる。

これは間違つた論理が平然として、勞働者に强制されてゐるこれが資本主義社會の特長である。吾等は最早一時も奴隷であり得ない。

□ 神近市子

何と云つても、今度の大阪の市電罷業に對して、大阪の高商と、高工の生徒が、やつた罷業破りほど憤慨に堪へないことはありません。

どうせ資本家のお手先になつて甘い汁を吸ふ爲めに、學問してゐる手合ですから、それを意識して勞働者階級を、敵と見てやるならまだしも天晴れ自分を知つたやり方だと云へますが罷業破りを手柄だと考へてゐる間拔けさ、加減は天下の物笑ひでせう。試驗勉强で通してゐる官

學の權威とかも、こゝらで箔が落ちた譯です。

□ 辻本隱太郎

衛生局の高等官連中は、寄生中の研究をするそうな。……先づ自分等は資本主義社會では偉い人だと自任してゐるのだらうが、勞働階級の寄生虫ではないだらうか。先づ寄生虫を研究する前に、自己を研究する必要があるぞ。……馬鹿……

田淵某とは衆議院に於ける新人だそうな。松方公國葬に反對しながら第一に賛成起立をしたさうな……これが新人か……呵々

□ 小川未明

人間生活の悲劇を、醜惡をも過失をも、すべて他人のことゝ見たり、きいたりして、それを一種の娯樂とする風がみんなにはないでせうか。そして、新聞や、雜誌は、今や、社會正義、人道のために其等の記事を扱ふといふよりは、ある享樂の目的に速かに誘導する風があるのは事實です。資本主義は、人間性を腐蝕しすべて商品化せんと

します。生活問題も、時事問題も、ジャナリズムの舞臺で踊つてゐるのです。

□ 岸野重春

七月の三日に勃發した市電へ(大阪)のストライキ程、貴紙の質問の答案に相應しいものはない。

三日の夕方からピタリと電車が止まつた時、大阪市民が困る程、大阪市にとつて、大切な市電の從業員——罷業團員——を親の仇のように攻擊したり、呪咀したり、何んと皮肉であらう矛盾であらう。

警察と軍隊の兄貴とは、奇怪にも、流言蜚語を亂發しつゝ、「鎭壓の目的」で總動員した。檢束、檢擧、收監は新聞を賑はす。不埒と云はふか。非道と云はふか。資本主義社會なればこそだ。

一在鄕軍人は、臨月の妻を振り捨てて、電車に乘る。親から金を貰つて生活に苦んだ事のない學生は、面白半分で暑苦しい教室から飛び出して、電車に乘る。

錆かけた電車はヤットの事で動き出した。一日作りの軍服と

學生服の車掌さん運轉手さん!!喋く。跳る。衝突!!。交通巡査が驅け付て、無言のまゝで髭を動かしてゐる。醜態!!醜態!!!

□ 久保芳郎

近頃おはやりの政治運動で思ひ出す。曾て吾々無名の同志が政治運動の必要を主張して動き出した頃には『政治』なぞとはスパイの言ふこと位にしか考へて貰わなかつたものだ。所がどうだ。當時吾々をブルジョア政黨のスパイ位にこなしつけた小利巧なサンピン共が昨今ではどうして、『政治運動』の總本家なさいへたけな顔をして、當時の『スパイ』同樣に政黨組織論なぞを大聲はり上げてわめいてゐる。

それは兎角、社會主義仲間には、浮氣女が淫賣をする如うに人の惡口を賣りあるき、さんざん相手に手傷を負はしてたいていの所で詩こそよけれと名乘りあげる處世術があると見へて、そうしたメサトキ連が旭火の勢ひで主義者の世界で立身出世するのを見ては、將來の社會主義の世もさぞかしと思はれて多少

の感激なきあたはずである。

世の多くの憎まれものが必ずしも無能者にあらざるように吾々仲間の憎まれものも必ずしも棄てたものではない。

たまたま東京赤坂の浪宅に無祿の浪人共相會し、一献交しながら天下の平穩無事に髀肉を嘆ずることがあるが、こうした手合の必要は何も天下麻と亂るゝ秋のみではあるまい。

なんとか各々所を與へ大いにこれ等繼ッ兒共の奇才を發揮せしむる程の將に將たる人物なき思ふ時、これまた感慨無量にくしやみが出る。

□ 北澤新次郎

最近最も不愉快に感じた事は資本主義的惡弊が東京府下の隣接郡部に非常の速力を以て擴大せられつゝある事であります。所謂新開氣分の鼻もちならぬ事!

□ 遠藤友四郎

憲政會を中心とする所謂護憲派の內閣が出來たが、ゆがみなりにもの普選案を出したのは中正會一派の比除名で、護憲派は

之が握り潰しを相談して居る。

普選が愈出來そうだと云つて俄に政治運動の方へ少しばかり而も滑稽に傾斜して來た連中への甚だしい皮肉だらう。—吾々の手で取つた普選、內閣以上の長期で權能の大なる議會を創造し國權を掌握する前提の機關を獲得する事の叫びに耳をかさなかつた人達は、此後もぢつと斯ふした皮肉を見せて行くに違ひない。社會主義者は死に絶へたか、消ね去つたか、存在する者はブローカーとゴロツキばかりだ。資本家よりも憎いのは主義閥連中だらう。

□ 秋田雨雀

(一) 大阪市電の罷業に、御地高工、高商の生徒が勞働者の唯一の戰鬪方法として、捨てた電車を操從したと云ふことは、實際教育の學生だけに一驚の外ありません。或は今日教育の目的がそこにあるのかも知れませんか。

(二) 愛國狂が愛國の名に藉りてするくだらない行爲が、何れだけ國民を苦しめ恥しめてゐるか知れません。彼等のために近

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

代の人類は、數百萬の同胞を少數者のために、殺してゐます。

□ 森本幹一

動物愛護の叫ばれる今日。市電罷業團が『公敵』『暴擧』の名を以て呼ばれてゐます。ドン底にうめく無產階級は、ワラジケハンでテクるだけの肚はいつでもあるものを。

東京震災の竹槍組が全民衆の意志を代表せぬと同じく、眞を摑まず踏り出す英雄遂と、その意志を吹張するブル新聞の論說が全市民を代表するものではないと思ひます。

『汝奴隷よ、速かに復歸して、我らに從順なれ』とはなぜ云はぬでせう。

資本主義末世の矛盾非道、混濁の渦卷く世相。

□ 平岩巖

個人の止むに止まれぬ行爲の批評を、理智や價値で定め樣とする試み程、生意氣千萬な話はないと思ふ。

嘗て南葛犧牲者の葬儀が靑山に營まれるや、○○れた南巖君の令兄は遺族全體を代表されて挨拶されたのであつた。その時氏は涙と共に、銃殺の手引を爲せる責任者、龜井○○○その行爲が正しいの惡いのと言へる人は、その人自身の心になりきれる人でなくてはならぬ。そしてその人自身の心になり切れる人には、その行爲に對する批評は出來ない筈だ、默つてその儘、溫かく受入れ可きである。

テロリストに對する冷笑は、活字の手淫者と高慢な學級の仕事である、彼等は理想社會實現迄の過程に於ける人間の任務を機械化すべく强いてゐる。

□ 鈴木厚

概念は日本の飛行機のやうに墜落しつゝも辛うじて飛行する現實は一進一退確歩する。故に屢 概念は現實の確歩に先行する。

概念の先行としては日本も西洋諸國の其れに洩れず、立派な一資本家國家であつた。單に一資本家國家であつたのみならず既に資本主義の爛熟期に到達してゐたかの如く思われ且つまた多くの名家によつてしかし說かれてゐた。然し乍ら、果してさうであつたか？、吾々はそれが概念の飛行であつたことを知るであらう。

思ふに資本主義の必然的崩壞も未だ甚だ前途遼遠なりだ。やうやく議會政治が確定され、やうやく資本家政黨たり得た今日吾々はやうやく資本主義の國土浸潤を知るのみ。

□ 板野勝次

（一）排日を喰つて、日本の支配階級及び其走狗共は、騷いでゐるが、排日の起つた根本原因は、資本主義の崩壞期にある國家が當然踏まねばならぬ、帝國主義の階段にまで到達した結果帝國主義の矛盾衝突が排日問題を惹起したのである。『暴米膺懲』と騷ぎ廻る前に、排日の根本原因たる帝國主義を、排擊しなければならぬ。

（二）大阪市電爭議で『公憤』の結果、學生や在鄕軍人團が、一夜造の車掌となつて、『市民の公敵』と戰つた。市電當局は殊更に、市民の反感を買ふ樣宣傳し。夫等の御調子に乘つたのが、彼等だ。

彼等が、搾取の魔の手にあやつられて、踊つて居る間は、資本家國家も安全々々。

□ 津田光造

同じ無產者でも有名な者と無名な者とは大變な相違である。同じ人間でも、無名と有名とは別人種扱ひである。併し、米國の日本排斥で憤死した者があるとは聞いたが、資本主義社會の有名排斥で憤死した者があることを未だ聞かない。『有名』はそれ自身個人の特權であり、財產である。無名無產者が、社會の正面に立つ爲めには何うしても『有名征伐』が必要である。

□ 浦田武雄

▲近頃の社會――ストライキ小作爭議延蔓、國士壯士浪人者の跋扈、バラック住民の思想惡化官吏の蔓性的怠業、資本家中產階級及一般國民の希望なき自惰落傾向、農村益々疲幣、地震恐怖人心不安。

▲これらの現象は、地震後資本と勞働の莫大なる消耗の結果益々行詰まり、資本が勞働力を循還させることが出來ず、失業、賃銀値下從つて國民のエネルギイを低下し、即ち資本主義の下部の要素たるあらゆる機關が充分油をくれぬので活動が弛んで來た爲である。

▲そこで、資本主義の内部に於て一方戰鬪的無產階級はストライキ其他の積極的運動を以て、其他に一般國民は消極的怠業自惰落にて資本主義の崩壞は益々近づきつゝある事を痛切に感ずる。

□ 權藤誠子

御地での電車從業員ストライキの時、無智な學生をおだてて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

道　め

臨時運轉手を造り、それをエライ立派な事でもやつた樣に、賞讚して居ります——私は、この憫むべきバカな學生を悄みはしません——私は彼等に少しばかりでもマルクスの學說を敎へて目を醒さなければならないと感じました。

東京では、この頃住宅難につけ込んで、家主の横暴は鬼のやうです。しかもおカミでは、それを出來るだけ見逃し、又は、否定して露骨に家主を擁護して居ます。

無産者が、雨露も凌げなくなるは、近い將來にありませう。夕立前の暗雲は、低く私どもの頭上にかぶさつてゐることを感じます。

□ 高橋龜吉

奢侈輸入關稅の引上げが議會に提出された。併し奢侈は品そのものではなくて用途にある。晩酌一本は決して奢侈ではないが待合や妓樓で呑む盃一杯も奢侈であるが如きだ。廣い邸宅を一人で占めてゐるのも奢侈だ別莊も奢侈だ。先づその方から止めて貰いたい。酒や煙草の重税を廢して、待合や料理屋や、ホテルや上等劇場に重税を課せよ。否、もつと進んで、奢侈の本元である不平等の收入の根源を枯らす工風をせよ。

□ 松下芳男

大震災で百億圓といはるゝ損害、それに隨伴する復興及大正九年より引きつゞく不景氣の増進。毎月の輸入超過。

かくして、危機に瀕する日本の資本主義。今ブルジョアー政治家は、此資本主義復興に血眼になつてをる。金の輸出禁止も今問題になつてゐる。奢侈品課税も此の現はれの一つである

□ 安部磯雄

人々が段々贅澤になつて行くのは、資本主義制度の特色であります。此根本に觸れずして奢侈の風を阻止せんと企てつゝあるブルジョアー政治家の努力が如何にも、滑稽に思はれます。

□ 藤井眞澄

日本の資本階級及中産階級は琉球人や臺灣人や朝鮮人や、それからアイヌ人やら日本婦人や幼年勞働者や小幼や、その上一般の貧民階級を實に非道に抑へつけてゐながらも、あれ非人道だの、それ正義に悖るなどゝ騷ぎ立てる。アメリカで追ひたてを喰つたが辛かつたら少しは永久の追い立者である無産階級の辛さを思ひ知るがよからう。

□ 藤森成吉

・最近のいろんな生活の爲め、御返事を書けず、大へんおくれて濟みません。

最近の新聞報道で、一番觸にさわつたのは、大阪の電車從業員ストライキの結末です。殊に大阪高商、高工の學生連は、一體何と云ふザマでせう。

□ 高橋長太郎

最近の感想——と云つた所であまり變り榮ゑのした感想も浮んで來ない。來さうにも思はれぬ。見るにつけ、聞くにつけ、「何とか成らぬものかなあ」と嘆ずる以外に、大した感想も起つて來ないのだ。俺は確かにどうかしてゐる。俺の頭は、次から次ぎに織出する、皮肉、矛盾、醜體、奇怪、不埒、非道の出來事に面喰つてゐるのかも知れぬ。

所でお尋ねの趣旨と別問題ではあるが、進め社の今度のゴタゴタの如きは陰で聞いてゐても氣持のいゝものではなかつた。

俺は進め社が好きだ、別段知つた人一人進め社に居る譯でも無いのだが、何となく放れ難い氣持がする。腹の虫が好くと云ふ以外に、何かあり相に思へて堪まらない。その進め社のゴタゴタを聞く事が何うしていゝ氣持ちなものか。けれども其のゴタゴタも解決されたらしい。陣容の立て直しもやつた相である。

進め社の諸兄、何うかさうあつて欲しい。俺はさうあることをお願ひして止まぬ。氣分を新にしたその元氣で、何時迄も仲よくやつて下さることを俺は今切に希望する。

□ 安藤國松

市電の從業員の罷業突發すると、大阪府内の各學生が、義勇だ、社會奉仕のためだ？と電車を動かしてみた。

其間は學校を休學したのだ。つまり、罷工破りのために盟休したのだ。それで、市電氣局から感謝狀を貰つて喜んでゐる。學生諸君よ、盟休は最善義勇だ益々やり給ね。

市電罷業團が高野山に登つた。それで、高野山に社會局？つまり、思想善導する宗教家が罷業團に善導された譯だ。

□ 金子洋文

排日で日本では急に正義人道が叫ばれてゐます。それなら、臺灣、朝鮮は△△は一體なんです、米國から排斥されて正義人道を叫びたいなら、先づ〇〇〇〇〇〇〇てからのことだ

□ 新居格

僕は僕の最近の實感から、來る感想を述べやう。僕の實家が近くこわされて立てかへられるのだからどうしても大家ら追ひ出される、所で何處を何處さがしても家がない。いやある事はあるがとても手がとゞかぬ。七十圓で四百二十圓の敷金と云つた工合に大抵六ケ月ごろ。本鄕あたりの借地の權利金なんか一坪百圓で坪の地代三十五錢から九十圓、所で借家法案に立退期間を六ケ月にしたから、敷を六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

道　め

ケ月ごろのだと云ふ理窟なのだあの法案などはプロレタリアのために少しもならなくて家屋所有者を庇護するに過ぎぬ。僕等プロレタリアは住むに所がない職業は主義者故に拒否され、家を求めると過分の敷金で拒否される。見よ大都會などは資本主義社會の飽くなき貪婪が亂舞してゐるに過ぎないのである。全く、不埒だ、且つ非道だ。

我等は最小限度の生活、最低下の生活をさへ拒否されつゝある。我等何をなすべき乎、たゞそれ丈

□　南　良　一

先日當市赤十字社で、郷土運動者福士某なる者が『勞働者の叫びは正當である。が、併し彼自身を改造し、生活を改善してこそ運動の効果がある』云々と。何んと矛盾にして滑稽極まる言葉か。

夜業から歸つて新聞の拾ひ讀みをする、『某令孃の結婚・某夫人の談、某富豪の園遊會、日く何々』

その記事の端くれの方に六號活字で申譯的に『職工シャフトに卷かれて死す』『何々工事で男女工十數名生き埋め』と出てゐる。

資本主義文化の誇り。……癪に觸るとも、非道とも、不埒とも沙汰の限りである。

□　佐野袈裟美

松方公が死んで、國葬になつて、四萬圓國庫から支出された彼は九十の上までも生きて、國家の元勳だといはれてゐるのだが、無産階級の立場から見るとこの長い生涯の間に何一つ爲めになるどころではない、松方一家は日本の資本家階級に深く根をはつて、これまで無産者を搾取し、壓迫して來たこと實に多大である。

先年神戸の川崎造船所に勞働爭議のあつたとき、松方社長の名がよく新聞に出たが、あれは死んだ老公の息子なんださうだ今は衰へたのかどうかは知らないが、松方一家が財界に勢力を奮つてゐたことのあつたのは確なのだが、それだけ政界の進展を阻止してゐたより外何もしてゐやしない。しかるに無産者も彼の國葬費を何等かの租税のかたちで負擔してゐることになるのだが、考へて見れば、全く馬鹿氣切つたことだ。

大阪市電從業員の罷業に高商や高工の學生が飛出して來て、罷業破りをしたが、如何にもブルジョアの子弟らしいオッチョコチョイ振りを發揮したものだ

□　前田河廣一郎

拜復

今日千葉縣から飛來、また〳〵兩三日中に歸らねばならぬので、その內金策もしなけりあならぬといふ理由も加はつて、馬鹿に氣が急いでゐます。完全な御返答は出來ませんが、差し向きプロレタリア作家などゝ云はれる私自身が最も資本主義社會の生むだ皮肉であらうと思はれます。資本主義破壞の爲めの文章を、資本家に拾ひ上げられたり捨てられたり、時々自分で癇癪が起ることがある。略答迄

□　千葉龜雄

アメリカの排日思想が、一番よく世界一の資本帝國の哲學を見せてくれた事を感謝します。そして、アメリカ流に無遠慮なところがなほ痛快です。それからまた同じ勞働者でも、アメリカ勞働者が、どこの國のそれとも違つてさすが資本國の勞働者らしい心底を見せてくれた事も

が、日本の或一部が、いざ急場になると、いつか自分の手でたしかどぶへ捨てた筈の、正義人道を色かへして、堂々と押して來る押しの太さんゐらいものだと思ひます。戰爭だ、戰爭だと昔の夢を見てる石頭もまた救はれない一つです。

□　片桐市藏

行き詰まつた、資本主義の斷末魔には、凡ゆる方面に皮肉や矛盾を曝露して居るが、其內で最近私の感じを深くしたことは彼の對米關係や險氣で○○をして居ることであるまいかと思ふ。

不埒とか非道とか云ふことは現在の所謂政治家と稱する奴輩の行動であると思ふ。

□　森口新一

一、各大新聞が筆を揃へて普選を高唱してゐながら廣告料を得る爲めに有田音松の堂々たる迷論に一頁を書きつぶす如き。

二、排日問題に憤慨のあまり大使館の米國旗を引きおろした勇敢なる靑年にブライカンの傘稱を以てする如き。

三、警察署に吾々が拘留された時家から持つて來た差入は通らぬが差入業者から入れる五十錢（眞價二十五錢程）の辨當は通して下さる如き。

□　福田德三

島倉儀平の疑獄

何だか餘程變です、新聞に『牧師』と書く例になつて居たのも有心故造らしく疑はれます、惡いからこそ人間なり、輕々しく扱ふべからず。

□　藤原榮次郎

同じ國であり、同じ民族であり、同じ村に住む人に對してさへ、人種的、民族的差別をする國が、毛色の變つた人の住む國から排斥せられたからと云つてヤレ市民大會だ、ソレ抗議だとサワグのも矛盾なら、自己の野心を滿足さすために人種的偏見を故意に助長して、他國人を排斥するも、不埒であり、資本主

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

義の維持政策として、その行きつまりを蔽ひかくして、何んのかんのと云ふも奇怪至極なり。

□ 奥田宗太郎

(一)空飛ぶ鳥と、たまに飛行機以外には、世間の事は少しもわかりません。が餘り不自由とも思ひません。外の自由も私には何の價値もないのですから。

(二)今日社會の自由が、搾取と、飢餓と、屈從と、墮落の別名である事は、必ずしもマルクスを讀まずとも、今日の勞働者の中で、是等一切の悲慘事の一手引受者とでも言ふべき、人夫、仲士、アンコウ等の不熟練勞働者が、特に自由勞働者と呼ばれてゐる事實を見れば、直にわかる事です。

(三)デモクラシーのチャンピオン永井柳太郎がゐる爲に、少しはデモの香のする憲政會の天下にも、勞働者のストライキが頻りに起りつゝある。事實、今後も必ず起るであらう。事實に依つて、今日のデモクラシーが所謂ブルヂョアデモクラシーである事を現實に依つて知る事が出來ます。

(四)理屈は兎に角一日も早く出たい。呑ん氣に費す時間が惜いから。自由のために鬪ひつゝある同志達に濟まないから。更に亦、內證だが可愛い彼女に會ひたいから。

(五)また飛んだ。餓ゑた瘦蚤が。必死の力でまた飛んだ。

●(獄中にて)

全土戰報(二)

岐阜海西村の小作爭議

海津郡海西村勝賀の小作爭議は地主の無自覺より今日迄延引し遂に訴訟を引き起すに至つた。即ち問題が今日の如き狀態に立ち至りたる事は剛慾なる一部地主と地主に追從する警察官の感情より來たものである同地方は昨年非常なる水害の爲めに收獲は豫想外の減收に例年の如く掟米を仕拂ふ事が出來ず、止むなく小作人八十三名を地主に掟米の歩引を要求せし處、地主は頑として之に應じない。小作側の要求としては不當の申立ではなく田續きの隣區丈まで歩引して呉れと再三依賴したる處地主は漸くにして一反歩一石三斗八升に對して(掟米)二斗を引く事を承諾したが小作側としては西勝賀の歩引額たる三斗八升を是非とも快諾し呉れと申込んだが地主連は應ぜざりしのみか三月四日頃地主より嚴重に掟米の請求をしたので小作人は止むなく同字圓超寺に集合して善後策を講ぜんとした。

而して一方高須警察署では小作側代表淺野仙吉外四名を呼出して署長が爭議に至る迄の始末書をとり、法律を楯に(農業警察令)して威嚇したけれど小作側は『不作の實狀を話して食へる樣にして貰へば決して何とも申しません』と云ひ署長は『政談演說を開くさうだが、小作人を煽動する樣な場合は處分するぞ』と放言した事があつた。それ以來政談演說會を開催したる事があつても辯士が開口するや直に中止を命じて言論を壓迫して居た。現に六月二十三日地主側小見山儀太郎外六名は掟米支拂請求訴訟を大阪區裁判所に提起し同時に假差押さへをしたので、中部同盟は演說會を開催し同時に顧問辯護士北村藤太郎氏を代理として地主に應訴した。然るに官憲は、これに對して極度に狼狽して、辯護士に依賴した事を撤回して、警官に一任せよと、あらゆる奸策を施して人權蹂躙的の行爲を恬然となしつゝある。吾等はこの事實に對しても戰はねばならぬ。而して殘忍暴戾極まる地主共の冷飯食たるクワン犬の挑戰に對して徹底的の糾彈と應戰と肉彈戰を開始しなければならぬ(岡田正已)

噓つきと体裁屋が多い

近年多くの青年が、社會運動だ思想運動だと、種々の運動云々と稱して騷ぐ連中が多いが、眞の社會運動に携はつて居る者は甚だ少いと思ふ。最近當支局へ訪ねて來た連中の中には噓つきと、體裁屋が多い。或る青年は私しは社會主義運動が好きだ大々的にやるなど眞向から大言を吐き、其青年曰く貧乏暮しで活動しなければ喰へぬ。夫れなのに社會が不平均で資本家や地主家主其他階級がある夫れが癪に障るから社會主義者になつて運動したいなど丶言ふ。社會運動は、そんな簡單なものではない、そんな不平からの出發點で自暴的運動をしたのでは駄目だ要するに彼等は雜誌でも唯で貰ふつもりで居るに過ぎぬ噓つき屋である。又或る青年は私は數年前から社會運動や小作運動、勞働運動等に從事して居るが、日本の社會主義運動は實に不徹底である、今少し理想的に進んで同志共力一致して運動したいなど恰も思想家の頭領にでもなつたつもりで居る。又或る者は私は社會運動の爲めには身命を投じてやるつもりだ、日本の思想家先輩等は皆懇意であると出鱈目を吹聽し且つ私には何時も警官が附いて居るなど丶手柄のつもりで居る。又中には種々の噓や、體裁を並べて思想家らしき風を裝ふて居るものが多いのには、實にあきれる。一體社會運動。思想問題はそんな輕々しき簡單なものではない、玆に於て吾々同志は『進め支局』として、且つ社會運動の爲めに、世に投じて大いに鬪かわんとする決心である、前記の體裁屋連中とは言語を交はすも氣色が惡い。否吾々の風上にも御免を蒙りたい。終りに一言して置くが、右は一般社界の青年を評したのではないから其邊は諒察を乞ふ。(岡山――倉本晃南)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市電罷業の眞相

森四朗

一　森君は西部交通勞働同盟の幹部で此度の市電罷業に苦鬪した鬪士の一人である極度の疲勞と匆忙の間に慨止み難く此一篇を草して特に本誌に寄せられたものだ。（編輯係）

一

「とう〳〵大事件にして了つた」とは當時の大日の所論である。この「大事件」にして了つたことは、寧ろ當然過ぎるほど當然の歸結であらねばならぬ。

吾等は、多かれ少かれ、新聞紙の逆襲に遭遇することを豫期してゐた。併し、其の實際問題に突衝つた時、それが豫期以上であつたことが遺憾であり、慨嘆の至りに堪へぬ。卽ち眞正なるべき報導機關としての新聞紙が、揃ひも揃つて、當局に厚く罷業團に薄くしたからである。

勿論さうした事實は、現在の資本主義制度が續く限り、其の範圍に於いて、新聞紙の報導そのものを直ちに鵜呑にするものこそ愚の骨頂だ！と云はなければならぬ。けれども、さうした資本主義の根底に橫はる、矛盾、撞着を理解してゐなかつた所の多數同盟員は、其の事實を眼前に見せつけられた時、今更の如く驚愕し、然も「此際、蹶然として某新聞の不買同盟を提盟すべし」とまで叫ばしむるに至つた程である。

今度の市電罷業事件に就いてそれ程、偏倚な報導を敢てしたゝめに、無理解な、神經過敏な百五十萬市民を惑はし、而して「市民の公敵」とまで絕叫せしむるに至つた。この偉大な宣傳力の爲に、非常な不利な立場に陷りしは勿論、對策、運動の上に影響を蒙り、多大な蹉跌を惹起したことは云ふまでもないことながら、其の結果に於いては大差なかつたことを斷言するに憚らないと同時に、せめてもの幸とするものである。

二

市電の責任者角局長は「中西辰一は三月頃より組合組織に熱中し、爾來今日に至るまで連續缺勤を爲し、然かも組織當時より今回の歎願書提案を謀議してゐたものである」といふやうなことを斷言してゐるけれども、それは皮相の觀察であり、彼等の社會に對する其場逃れの言辭的言辭に過ないものであつて、事實は決して然らず、前「名」局長佐竹氏の制定したる凡ゆる社會政策的施設は西部交通勞働同盟の勢力が、頽墜するとゝもに當時尊き犧牲を拂つて贖つた神聖な勞働條件は時を經ると同時に遞減的に剝奪され彼等の經濟生活は、それに反比例して窮迫して行つた。

然るに一方に於いて、大正十一年に於ける老猾なる佐竹氏の處斷に爲れる馘首問題てふ時代思潮の崩むだけたたましい警鐘に夢破られた從業員間には、明瞭に階級意識に覺醒したる、當局の所謂「過激分子」が潛在して內部的宣傳運動を爲し、西部交通勞働同盟會再起を企圖した。其間既にして一年有半、大正十一年四月佐竹氏の制定したる「運輸委員會」は、最初の人氣は何處ともなくうせて何等の効果なきに至る、自然消滅の憾あること、昨年五月、然も七八ケ月の調査研究の後、共濟組台の組織を見るに至り、運輸委員會の目的とし、使命とする所の「現業員の福利の增進生活の向上安定」は共濟組合に於て爲されるものなるが故に、同一目的を有する、運輸委員會の並用を爲すの必要を認めずとの理由の下に、該委員會の精神は骨拔きにされ、當局の魔手は統一的に、組織的に、將又計畫的に益々暴威を奮ふに至つたのである。

斯樣にして巧明な、惡辣な手段に僞瞞され、搾取を恣にされて來た現業員は、運輸委員會や共濟組合等の社會改良主義的施設に據つて、勞働階級の絕對の解放は贏ち得られないことを自覺し、西部交通勞働同盟の殘壘に馳せ參ずるもの日を追ふて相次いだ。

斯くの如き情勢の下に、今回の歎願書の內容を爲す勞働條件の改善案は、超自然的に、可及的に釀成されたものである。

三

けれども西部の糾合運動のそれ自體は、決して表面的な積極的な運動のそれでなく、飽くまで潛航的な、消極的な運動のそれであつた。が當局者と雖も決してしかくづさんな者ではなかつた。彼等は其の恐るべき組合運動の萌芽を知りつゝ如何ともすることが出來なかつたのだ。

斯樣な險惡な空氣が彌漫し、釀成されつゝあつた當時、彼の國際勞働會議に送るべき、勞働者側代表選定に當り、時の政府が既製勞働組合を公認したことに刺戟され、從來現存する所の吾が西部交通勞働同盟を度外視して、時の市電共濟組合評議員に據つて、關西交通勞働組合創立の提唱を見たのであつたが、それは市電幹部との諒解を求め而して當局の默認といふよりは寧ろ默契の間にあつたことが看破され、所謂「御用組合」の非難の下に排擊され、逆宣傳の結果完全に西部交通勞働同盟の成立を見るに至つたのである。

四

この關西交通勞働組合の創立者は「社會思潮の大勢に鑑み、勞働組合の必要を感じた」るが爲めだといつてゐるけれども、飽くまで西部交通勞働同盟に對抗し、自己の欲する組合を創設

しやうとして焦つてゐた事實に徴するも、當局の內意に依るものなるか、將又所謂「社會思潮の大勢に鑑み、自發的に勞働組合の必要を感じ、組合を組織したことに依つて、當局に利用される破目に陷るに至りたるものなるやは、其の結果を見ずして終りたるものなれば、其の何れが事實なるやを知るを得ざりしと雖も、同一部內に、二つ以上の組合が存在する場合、其の結果が如何になりゆくかは、從來の組合運動の史實に依つて實證されてゐる。

されば當時彼等の凡ゆる運動方法なり、態度なりに依つて、これを主觀的に觀察するも、このことが勞資兩者に依つて、西部交通勞働同盟を破滅せしむべく計られた手段であつたに相違なきことはこれを推定するに餘りあるものがあつた。

五

けれどもこのことは、恰も燃え揚からんとする火に油を注ぐの結果に終つた。當局者が放つた第一の矢は的を外れた。然うして彼等は、第二の矢を繼いで其の機の至るを待ちもうけてゐた。

恁うした狙はれた矢の下に、西部交通勞働同盟員の間には既に勞働條件の改善案は具體化して來た。そして此の事に就いては、幾十回となき愼重審議は重ねられ、遂に歎願書提出に決定したのは六月二十七日拂曉だつたと聞く。かくて其日の正午を期して各課の九通に涉る歎願書は提出されたのであつた。而して七月三日の回答期に至る一週日の間に、數回の豫備交涉は重ねられ、從業員の意ある所を充分に察知しながら回答日には只の一項目をも入るゝ所なくキッパリと蹴し去つたのであるが交涉委員は事の此處に至るを豫期し、豫め設けられた九條市民殿の代議員大會場へ引揚げ、交涉の顚末を報告すると同時に續いて其の對策をも講ずることゝなり、直に要求書に更めて提出することに衆議一決、午後四時散會。然るに歎願書提出以來當局に於いては凡ゆる方法を以て同盟罷工に飽くまで對抗すべき準備は着々として整へられつゝあつたものである。それを此處に擧ぐれば、枚擧にいとまなき程であるが、恰も代議員大會終了後、三々五々歸宅する途中に於いて夜具及び被服類を運搬しつゝあるを多數身受けたる者あるを聞く。要するに、其れ等の事が今回の罷業事件を激發せしめた、主なる原因とも言へよう。

六

勿論、私一個人としては正々堂々と戰ふことを欲した。又同盟として、最終の代議員大會まで正々堂々の陣を張り、市民にも徹底的に事の眞相を訴へる豫定であつたと聞く。けれども解決の結果から考へるとき、法律上勞働組合さへ認められず、從つて罷業權をも有しない現狀に於いて、斯樣な偶然な、突發的な罷業を斷行した理由を以て直に「市民の公敵」と呼ばれ、無通告罷業の理由なるを以て「不德行爲」視せられたことを遺憾とすると同時に、吾等と雖も、其の訓練の乏しき結果、斯の如き不始末を惹起して、所謂「市民の兩足を奪ひ」多大の迷惑を懸けたことに對しては、今更羞恥と慚愧の念に堪へないものである。けれども一日一刻と雖も敵の隙に乘た結果、以外にも結束を鞏固にすることの出來た一事を思ふとき、寧ろ日本の現狀に於ける不自然な効果を齎し、結果に於いて同一でなかつたかを窃に喜ぶものである。

何故となれば、より多くの犧牲者を出したであらうから——

私は更に言ひたい。最後まで正々堂々の陣を張り、多少でも市民の「諒解」を得たならば、或は「同情」を得ることが出來たかも知れぬ。と同時に「刑罰」を受ける者が續出したであらうことを悲しむ。

されば無通告罷業の「善惡」を論じ、加之、其の事を以て直に「不德行爲」呼ばはりをする前に、先づ數年前喧しく論ぜられた治警存置の善惡論を盛返してからの事にして欲しい。

七

「出勤命令に從つて歸參するものは、當方から口頭を以て將來を戒め詫證文を取つて復職させる。但一つの條件としては、此際斷然西部交通勞働同盟より脫退するといふことである」とは七日大朝に於ける角局長の談として掲載されたものである。

これに依つても明かなる如く自己の頑冥さ加減を、いゝ按排に暴露し、如何に組合を嫌厭し如何にして西部交通勞働同盟を撲滅すべきかを、今日に至るまで考慮してゐたかを、明瞭に物語るものであると同時に、組合を撲滅する爲には、彼等當局者と雖も、その手段の如何を選ばなかつたことを察知するに餘りあるものがある。

斯く論じ來り、觀じ來るとき、其の手段のために、だし拔かれて、大なる「迷惑」と「不自由」を蒙つた者は、それこそ「百五十萬市民」である。だから安く觀ても、所謂「兩足を奪つた」者は從事員であり、奪はせた者は市當局であるといふことが出來やう。

この不徹底な、然も拙たない私の論旨に據つて、賢明な讀者諸君が事件の眞相を多少でも諒解されなば幸甚である（完）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

普選を中心として
既成政黨動搖の豫測

久保芳朗

（一）

既成政黨の勢力分布は、近々四百萬足らずの投票權の奪ひ合ひで、縣選擧毎に、多少の變化はあるにしても、進退共に殆ど固定してゐると言つて差つかへはあるまい。

所が、普通選擧が實施されると、此の僅か四百萬足らずの投票數が、一躍して千四百何萬といふ三倍以上の數に增加することになる。そこで、かう急激に投票が增加しては、孰れの政黨も、自由黨、改進黨以來の傳來の地方地盤を墨守した位では今後の政界の支配權はおろか、文字通り二進も三進も動きがとれなくなる事は、どんな門外漢にでも見當がつく。

だから、政權に有つけそうにもない萬年野黨の革新俱樂部などが「既成政黨打破」の大旗を押し立てゝ普選即行を大聲叱呼して來たのに反しても、政友會あたりは、兎も角も現狀維持が安全だといふ所から、低能にも程があるが、普選は社會主義だなどゝ、コケおどしをやつて、一日の安きを偸まうとしたのである。

とにかく此の政界の混亂マゼツカへしそのものが既に、政黨革新論者とか、政界落武者連とかの興味をそゝる普選第一の魅力なのである。

（二）

併しながら、普選に依つて生るべき新有權者一千萬人の爭奪に、いづれ劣らぬ惡口はたゝきながらも、彼等は流石は同じ穴の貉だけに、彼等には、そこにまた一脈相通ずるブルジョア心理がある。

即ち、彼等は、ありつたけの智慧を絞つて右は「國民生活の安全」から左は「勞働組合の公認」まで、無產階級の好きそうな政策を掲げて巧に「投票箱」と「帝國議會」に對する大向ふの好氣心に投じ、所謂合意的協力に依る平和は社會改造の希望を與へて、無產大衆をして、「恐ろしい」社會主義に背を向けしむるために、殆んど無意識の中にブルジョア三派は完全な協同戰線に立つに至ると考へられるけだしブルジョアにとつては、これが普選實施の最大の効果でなければなるまい。

そこで普選を中心として今後の政界を豫想するとこは單なる興味ではなくて、我々無產階級の政治的態度を決定する上にも極めて重大な問題になつて來る。

（三）

行詰つた日本の政界に新局面を與へつゝある大事件としては私は、第一に政友會の分裂と、第二に從來政府黨が印で押したように必ず第一黨と定まつてゐた我國政界の不文律を破つて、計らずも護憲三派の大勝を見た以上二大事實を擧げることが出來る。

この政友本黨の出現と護憲派の勝利は普選實施の既成政黨の陣容に對する私の從來の豫想に重大なヒントを與へた。

それは、最も保守的な大政黨として、十餘年の間一般國民の怨みを買つて來た政友會が、內部の分裂に依つて、舊怨の殆ど悉くを政友本黨に讓り、護憲派の中堅としてむしろ憲政會よりも急進的態度に鞍がへしたことである。

大體、普選の實施によつて最大の打擊を被るものは、當然に從來普選に反對して來た政黨でなければならぬ筈だ。然るに普選反對黨の最も有力なものとされたる政友會が、今や護憲內閣に列して普選の實行は勿論、貴院改革の急先鋒になつてゐることは今後の政界に於ける政友會をして最も有利な立場に導くものと見なければならぬ。

恐らくは機略縱橫の政友會は此の機に乘じて得意の實行力を振ひ、巧に民衆の輿論に迎合して、保守的政黨の古看板は之を手際よく政友本黨と憲政會とに分讓し、目先の利いた自由主義政策を掲げて普選實施の最初の政戰に新しい芝居を打つに相違ない。

之に反して、憲政會は久しぶりで廻り合つた政權に對する戀著は容易に捨て切れまいし、さりとて、十年の在野當時大見榮を切つて濫發した各種の政策は

想ひ出

ミチハル

×

なつかしき
母と俺とが爭ひて
家を出たるも貧しさのため。

×

つよく生き
强く生きんと思へども
すべてが悲し貧しさのため。

×

あはれなる
「生き方」と嗤ふな
父母よ！　これが子の
精一杯の生き方なれば。

×

壓政なんぞ
迫害なんぞ
○○　想ふ
心に一なくホドハシル俺
○○想か
死もオゴソカに胸を打つ
大海の如し心ときめく。

×

俺がもつナイフは光る
スッポリと
何か切りたしナイフは光る。

×

犬を切り豚をも斬らん
丁度よし
光るナイフの一振一等。

×

孔明の、刀の如さし
ばジョリをも
切つて見たし味方の爲めに。

×

ロートして堅きを誇る
ブルヂユアの一角破れプロの前
衛

×

あだ名など
呼びかわしつゝ戯れし

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

それも簡單に實行も出來ず、反對黨からはヤイヤイ攻め立てられるし、世間の後援も時日の經過と共にうすらぎ、組閣當時の意氣込みにくらべて、案外早く秋が來はしまいか。

元來獨立の政策を掲げた獨立の政黨が、そう何時までも、「小異を捨てて大同につく」なぞと人を喰つた曖昧な態度で滿足に行ける筈のものではない。妥協とか協調とかいふことは、その表面はごうあらうとも多くの場合、一方が他方を征服する上に必要な準備を全うするまでの事で、その必要がなくなつた頃には、何等の口實の下に內部から秋風の吹き初めることは、明治以來の聯立內閣が終りを全うしていないのを見てもワカることである。

（四）

それでは、その秋風の吹き初めるのは一體何時頃、だらうかそんなことは（大本數でもない限り、野たれ死と思つた憲政會が一朝にして天下を取り、老華族が隱居して政界の新人と唄はる〻我政界のことだから、）恐らく、豫言出來るものではないだらうが、先づ消極的に普選案の通過と貴院改革の實現を見までは、「憲政擁護」の一點張りで押し通すだらうとだけは言そうだ。なぜならば、之だけの目的を達する事なしに內閣の一除が崩れたのでは其の責任が三派のいづれ在るにせよ、國民に對する面目がた〻ないからである。殊くとも不俱戴天の恨みを忍んで憲政會中心の內閣に列した政友會として、そんなことをやつたのでは、全く一物の得る所もない。彼は、忠實に護憲の目的を達成することに依つて過去の國民的反感を一掃してのみ今後の政界に於ける新しい立場を築き得ることを知つてる筈である

兎も角も、潮時を見はからつてゐるのだ。政友會にしても、革新俱樂部にしても、さういつまでも悠々として、憲政會と下手な心中はしない。

一方、內閣は一部の改造を行ひ、貴族院の勢力を取り入れて憲政會單獨內閣となり、加藤一流の强がりを發揮して、飽迄も苦節十年の溜飲を下げやうとするに違ひない。かうなると、憲政會は從來の與黨なみに、段々と保守的色彩を加へ、結局は今日純保守黨として取り殘された政友本黨との情意投合を策するやうになるのではあるまいか。

或人々に、政友會の分裂は單なる感情上の問題だから遠からず解けやう、どちらから言ひ寄ることもなく燒木杭に火がつくだらうと考へてゐる。それは如何にも尤もらしいが、その實は、三派の聯立內閣の成立した今日では、殆ど可能性がないといつていゝと思ふ。いくら政權慾の猛烈な政友會だつて今更不人氣な本黨と合同してより以上の不人氣を獨りで背負ひ込むことの不得策は充分知つてゐるから、よし本黨の一部のオポチユニストが政友會へ復歸することがあつても、憲政會が極度の無茶をやつて目の當り政友會の面目をまるつぶしにでもすることのない限り政友政本兩者の合同は全く不可能だと考へられる。

（五）

それなら、革新俱樂部の將來は一體どうなるだらう。

二十幾人かの人數を一束にして、勝手なまぜつかへしをやりながら兎も角も我國政界の左翼の一角に立つて、人並の人氣役を演じて來た革新俱樂部にとつては、普選の實施は、正に心機一轉して新黨の組織にとりかゝるべき空前絕後の好機であると言はねばならぬ。

革新俱樂部は、新選擧權者の上層部に基礎を置き、それ等の無產階級を味方に取り入れることが出來れば立派に中間階級の新黨たる資格も經綸も有つてゐる。しかし、果して、彼等に、此の新運動を企畫するだけの勇氣があるかどうか、またその中心人物たるべき性格を何人に見出すべきかゞ、最大の難問題であらう。

いづれにもせよ、このまゝでは、もはや彼等には今後の政界に於ける存在の餘地がない。そこで彼等の進む途は、從來の行懸りを辿つて政友會となり、その內部から自由主義化を促進することに滿足するか、それとも勇猛一番して後藤一派の勢力と結び、憲政會の保守的傾向にあきたらぬ一部の急進分子を糾合して後藤、犬養、尾崎を首領とする永井、中野、長島、田川等の民主主義の一派の大合同を策し

そのかみの友今は語らず

×

あだ名など呼びかわすことも
なきまでに
世帶やつれしそのかみの友

罪宥草

ミチハル

髮を長く伸し
プロ文士だと云ふ男あり
新刊書などよく
買ふ男なりしが。

×

髮を長く伸し
ロイド眼鏡をかけ
ルパシユカなどを何時も着て
社會主義者だと云ふ
男あり
田園を通れば泥が臭いとて
鼻をツマミ口を閉き
よく農夫を非文化的だと
罵りてゐたりしが。

×

髮を長く伸し
プロ文士だと云ふ男あり
三圓の本は俺には讀めず

×

一生を資本論のあつちから
こつちに旅して學者だと云ふ
男もゐたり獨創もなく。

×

六ケ數いことが讀れば
だめと云ふ。そいつはみんな
學者の云ふこと

×

死んだ本がものを云ふより
生きてゐる社會の歌が
プロは尊し。

×

時間と金とがあるならば
俺も讀んで見樣色々の本。

×

詩だとか歌だとか思へば
詩人や歌人への冒涜しだろう
が、プロのネゴトと思へば
腹も立つまい　サヨナラ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

得るならば、けだし、立憲自由黨乃至は民主黨の實現必しも不可能でないであらう。婆婆氣の多い後藤が、あれつきりになつて了ふ氣づかひはなし、斗志昔日の如くでもないと言はれながら犬養の有つて生れた奇才が三度の大臣位で引つ込みそうもなし、尾崎に至つては、政友會の絶縁的に破れた今日此時、不過十年の、意趣晴らしをせずには居れまいから、新黨組織の一點では全く意氣大いに投合するものがなからざるを得ぬ筈だ。而も、政界に一角拔んでゝゐる中では此の三人の協動は過去の情實から云つても充分可能性がある。永井や中野は保守派に組じては殆ど何等の光りも出ない役者だし、長島隆二の如きは勞働階級の右傾に氣を病む程の急進論者だから、田川あたりの暗中飛躍も案外にうまく行つて、人物の糾合も割合に成功するさ豫測し得るのである。

（六）

この實現は、かく、充分可能性のあることだから必ずやり出すと見て大した間違ひは あるまい。ところではなく、事實もう躍なる豫想の範圍を脱して動き出してゐるかも知れない。

そうするさ、私の豫想は、大體、政友本黨及び憲政會は、程度の差はあつても、先づ保守黨の立場に止まり、政友が進歩に進み、革新部の延長若しくは全く新しく立憲自由黨の如きが生れて、普選に依つて浮び上つた一千萬の新有權者の爭奪戰を演じて、定めし天下の鬪爭趣味を滿足させることだらうさいふ結論になる。

然らば此の混亂に乘じて最も有利に投票掠奪に成功しそうなものは、ごれかさ言ふさ、私の見る所では、當然に過去の政界に於いて甚だ振はなかつたが急進的に普選派さして最も多く「恩」を民衆に押し賣つて來たものさ見る外はあるまい。つまり第一人者は、新に生れ出そうな立憲自由黨で、これに次ぐものは新裝をこらした政友會か憲政會で本黨に至つては溫健着實そのもの〻如く手も足も出まい。

而して、これら投票掠奪者共の異口同音に唱へるであらうお題目は、何人にも豫想される如く「勞働者の生活安定」「小作人の救濟」にきまつてゐる。

事、こゝに至ると、問題は、漸く、我々無産階級の實際問題となつて來るのだが、こゝで、被掠奪者の立場に立つた新有權者一千萬人は殆んど大多數が、無産階級だ。かゝる火を見る如き事實に當面して有ながら、いたずらに「研究」だの「實行」だのさ、道樂氣分で議論を弄んだり「政治運動はいゝものか惡いものか研究したい」などいふ愚論に引つかゝつてゐるのが、我が社會運動の鬪士の現狀だとするならば、革命歌を何度繰返してみた所で、いかに赤旗を屋根の上で振まわしてみた所でまことに望洋の嘆に堪ねない次第である。

討閥

無代進呈
郵税二錢

多年、無産階級の運動を阻害し而も傲然として吾等同志の頭上に君臨し來れる閥族に對して、徹底的に之を粉碎打破すべしとの叫びは、最近我國社會運動に於ける新しき兆候である。而して此の氣運に魁けて、打ち鳴らす鐘聲こそ、本誌「討閥」である。特に一讀をすゝむ。

東京市赤坂區檜坂町四
討閥社發行

社告

長野事件

寄附者芳名

金壹圓也	神戸	佐藤光敏
金壹圓也	京都	大路龍一郎
金五十錢也	大阪	木多千里
金壹圓也	山形	三上蘇名也
金五十錢也	淡路	松山政雄
金五十錢也	大阪	R I 生
金壹圓也	栃木	橋本境
金五十錢也	岡山	倉本晃南
金五十錢也	千葉	寺田逹雄
金壹圓三十錢	函館	行榮太郎
金五十錢也・	函館	磯部與吉
金五十錢也	同	錦江、栗原、鈴木
金二十錢也	同	工藤逸蔵
金五十錢也	同	大沼、中川
金二十錢也	石川	三宅信正
金三十錢也	靜岡	飛彈牧義
金三十錢也	同	佐野義元
金壹圓五十錢	長野	田中主税
金五十錢也	高知	小松尚榮
金二十七錢	同	藤田蝶夢
金五十錢也	京都	無名氏
金十錢也	大和	無名氏
金五十錢也	熊本	松浦青龍
金壹圓也	鹿兒島	尾崎喬樹
金五十錢也	福島	渡邊信義
金三十錢也	朝鮮	李廷陽
金五十錢也	廣島	白砂春一
金五十錢也	京都	中林すゝむ
金二十錢也	岡山	某氏
金五十錢也	東京	福永、佐吉
金壹圓也	靜岡	石原英作
金壹圓也	青森	I G生
金壹圓也	福岡	山北熊三
金八十錢也	石川	井口俊治

合計金二拾圓三十五錢也

大正十三年八月一日

進め社

彼等と君等

本郷一郎

彼等は君等に大厦高樓を造らせる。然し君等自身は九尺二間の借屋にすむ。

彼等は君等に高價な華奢な織物を織らせる。然し君等自身はぼろをまとふて震へて居る。

○○○○○・○○○○○○○○○○・
○○○○○○。○○○○○・○○○○○○
○○○○○・○○○○○○○。○○○○
○○○○○○○○○○○○○。○○
○○○○、○○・○○○○・○○○○○
○○○○○○○○○○○○。○○○
○○○○○○○○○○○○。○○○
○。○○○○○○○○○○○○○○
○○○、○○○○○○○○○○○○
○○○○○。○○○○○○○○○○
○○○。「○○○○○」○○

短詩一つ

竹中 [illegible]

○
彼等(勞働者)は
パンを得可く
パンの爲めに
働きて餓ゆ
我等(無産民)は
パンを得可く
パンをつくりて
尚且つ
パンの爲めに饑ゆ
あゝ我等は
諸共に虐げられし弱き無産者。
彼(ブルジョアジー)は
彼自身の手に依つて
果して何物か
生産したりと言ふや
否とよそれは無
生産したるは我等
生果を奪ひたるは
彼ブルジョワジー
我は饑ゆに
彼ば富むなり
おゝ諸共に
強かれよ我等無産者。

同人

社窓雜感

社會主義王を屠れ

若し社會運動を借りて腹を肥す惡漢あらば、吾人は是を屠らん而巳想起す、明治四十年十月三崎町吉田屋に於て吉川、中田等と惡漢を葬らんとせり。今此の彦惡逆益々強く社會主義王となりて暴威を振ふ、吾が社會運動の振はざる蓋に故ありと謂ふべし。此暴王を倒さずんば無産階級は永へに自由なからん敢て吾が誠實なる同志諸君に告ぐ(福田)

鐵アレー

此の地上の凡ゆる物を破壊し凡ゆる物を建設し凡ゆる物を惡道に善道に導く所の思想の潮流が時勢の推移と共に、彼の軍國主義より、民主々義に、專制思想より、自由思想へ、將又、現在の社會主義思想へと變遷し來り今や此の一般民衆の時代思想化せんとする今日、我々は何日迄も安閑たるを許されないのである。

我々はあの肌をツンザクが如き寒風吹き荒ぶ烈冬にも炎熱焼くが如き猛夏にも、尚流汗淋漓として荒野に虐げられつゝある農村兄弟の悲痛なる解放の叫びを聞き或は發煙蔽る工場に光りを閉す地の底に、朝に夕に働かされつゝある此の勞働階級の悲痛なる解放の叫びを耳する毎に、僕は思はず切歯扼腕せざるを得無い。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

……○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○我々は屁のような理屈には少々あきた。そこで我々は毎日々々、荒ムシロの上でドテンバタンの殴り合をやつてゐる。近頃は、撃劍をやるものもふえて來た。福田氏が東京から五十ポンドの大鐵アレーを買つて來たので、しばらく、こいつで身体をきたはる。鐵丸投げも大いによい。(斜木)

燃ゆる太陽の下で

八月の太陽は、森羅萬象を灼き浴かさん勢で、それがブルとプロも差別なく、不公平なく照つてゐるのだ。だがブルには金もある餘暇もあるから、スタコラと避暑に出掛ける。プロには避暑どころの騒ぎでない。酷暑とパンとの爲にアクセクと働かればならない。

毎日々々舞込んで來る諸兄のお便りは、同志諸君の眞摯なる激勵は、吾々駄馬に鞭打つて吳れるのだから實に嬉しい麒麟も老いたれば駄馬に等しいといふ事がある吾々は反逆者である。これを逆に考へて見る。いくら駄馬だつて。諸君の熱誠こもつた。糠疑の前には麒麟よりより以上になる事が出きよう。焔熱の如き民衆が、潮の如く、神聖なる○○旗のもとに勢揃することが何時かは到來するのだ民衆の血汐は焔の如くしねたぎつてくるだろう。その前にブルヂョアの壓制、横暴が何に價するものぞ。(岡本)

新淀より

●中濱哲のこと……私は大阪へ行かうと思ひ立つた時、頻りに「濱鐵」のことが懐かしかつたのだ。彼と別れてもう一年餘にもならうが、私が詩の一つも書かうといつた氣持……それは極めてまれだが……になる時なぞには特に、誰れよりも一番深く彼の顔が浮んだものだ。その濱鐵が、大阪の牢に入つてゐると聞いたとき、私の悍きつたらなかつた。

特別面會が許されて、私は十年も別れてゐた兄貴に逢ふような思ひで、兩の手に手錠をはめられた彼に逢つた。哲は、しかし、非常に元氣だつた。元氣なんて言葉で表現するには餘りに深みのある重たいどつしりとした、幅廣い男となつてゐた。哲は微笑して私の前に立つた。それから、彼と私との間には、詩談がゆつたりと語られて行く。哲は、始終、氣持のいいやわらかな微笑を口もとにたたねながらポツリポツリと話題を擴げて行く。私はいつか彼の話に引きづり込まれて耳を傾けるばかりであつた。そして、時々、哲の兩手をせまくククつてゐる手錠がガチヤリと鳴つた。その度に、哲は牢屋の四人なのだと氣がつくのだつた。それほど、彼は、ゆつたりとしてゐた。彼は自分が牢にゐるのだといふ事などは、少しも考へぬほど快明な態度だ。

濱鐵の「詩集」が出版されるといふことを、東京の同志から聞かされたのを思ひ出したので私はその方へ話を轉じた。彼は、近く彼れの身体よりも早く世に出る自分の「詩集」のことを、例の男らしい笑ひを頬に浮べつゝ喜んでゐた。そして「詩集」の名は大体「黒い笑ひ」とするといふ話であつた。フローベルだつたかが「赤い笑ひ」とベンガラのような夏の灼熱の太陽を呼んだのを記憶するが、牢の中の哲の最初の「詩集」の名が「黒い笑ひ」といふのは大へん面白い事だ。

濱鐵の詩は、日本のプロレタリヤの有つ誇りの一だ。無名で秀でてゐる点で誇りだ。なまじいにプロ文士などといはれないだけ誇りだ。恐らく哲は詩人などといふ凡俗な呼びかけをされたら、苦笑して、そして、その人を輕蔑しはしないか。傳統とか偶像とかいふものを、彼位、全身を以つて徹底的に輕蔑する男もないからだ。

さんざ話をして後、彼は、網笠をすつぽりかぶつて立ち上つた。彼は不自由な手を差しのべた。私は彼の背白い手を握りしめた。その手はやわらかな冷たい手であつた。私は、ここで初めて落ちかゝる涙をおぼねて、彼に背を向けて了つた。

×

進め社の近くに、新淀といふ廣い河が流れてゐる。原稿の整理に疲れた頭をやすめるために私はよくそこの橋へ行つた。眞夜中の河風がことによかつた。橋の上にムシロをしいて寝てゐる男もあつた側を荷馬車ががタ／＼通ると、寝入つた男の頭が上下にガタ／＼とゆれる。私は馬と馬方を睨んだ。しかし、馬も馬方もやはり疲れ切つてゐた。(陽之助)

會計係より

一、誌代に關する問合せ、雜誌注文に際しては必ず端書に會計係とする事

二、會計係の用件は一切個人宛にせぬ事。

三、本誌は集金郵便を一切取扱はぬ事を承知して貰ひたい。

四、住所姓名は明瞭に記す事。

五、時々姓名だけで住所も記るさずに送金して來て來月號から送本してくれとか云つてくるがこんな不得要領な事に度々惱まされる。成可く苦しめない樣にして貰ひたい。

六、パンフレットの注文は大分あるが只今全部品切れになつて再版印刷中だから出來上る迄待つて貰ひたい。

七、見本注文の方は一部十錢を要す。

八、誌代拂込は可成振替で振替の都合の惡い者は五厘及一錢五厘の切手を用ひ振替の裏には用件を明記する事

文化的秘密結社

―堺利彦氏に―

田代常二

（一）

日本に共産黨の秘密結社があつた。堺利彦氏を總務幹事長とし、細胞拾數個、黨員五十數名を以て組織されたものだ。既に豫審決定書に依つて新聞紙上に發表されたのだから、黨の目的、綱領、役員等々悉く世上に知られて居る。今更彼等の共産黨員でもない僕が提灯持をする迄もない。しかし愚劣、惡辣極まる警察並に裁判官は僕を共産黨結社の一員と認めた。

この事實の中に無産階級解放運動の前途に、多少でも參考になることがあれば無駄でもあるまいから僕の經驗した事實そのまゝを茲に書いて見やうと思ふ。

僕は共産主義に就て、大した研究もして居ないし、社會運動の事情にも通じて居ない。しかし僕は共産主義そのものに對して、僕自身相應の信念もあり、何等主義に對して惡意を持たないことを言明しておく。

また該事件によつて起訴されたもののみが日本に於ける共産主義者の全部であるとは思はぬ。

だが兎にかく、その當時泰山鳴動、一世を震撼せしめた共産黨事件、結果に於て、鼠一匹はおろか、冷飯喰ひの新熟語を後世に傳へたに過ぎぬとは云へ、現時の○○んことを目的とする豫審決定書にも書いてある通りの、全世界プロレタリア運動の一部を代表するものであることは間違ひない筈である。

抑も秘密結社とは何であるか？ある意味で社會主義の運動は全てが秘密結社だと云へないだらうか？殊に公然と現行法の承認を得てやる運動でない限り、黨中黨を作るが如き秘密結社の必要は何處にあるか。

然も日本共産黨と名づけ、黨規を作成し、會合の議事錄を保存し、脫黨屆を藏しておく等は秘密結社そのものゝ本質に反する奇怪事ではあるまいか。それは宛然、裁判所、法廷のために進んでは、何か爲にするところあつて殊更自己廣告をしたものと云はれても仕方がない。

法律上秘密結社たることの認定がどこにあるか知らないが、僕としても勿論共産黨の諸君が自ら進んで、法廷に於て秘密結社たることを承認したものとは思はない。しかし『滑稽にして悲慘なる』斯の如き現狀に在る吾が日本に於てこの事件は果して正當にして充分なる効果を、無産階級將來ために齎し得たであらうか？

或人は官權によつて共産主義の宣傳をして貰つたものだと云ふやうなことを云ふ。だがそれは果して眞の共産主義であつたか？若し誤れる共産主義でなかつたならば幸である。

（二）

今度の事件に關して僕の最も云ひたいことは、少し運動上から緣の遠いことではあるが、僕等の運動が、眞劍であればあるほど不問に附する譯に行かないだらうと考へられるのである。

僕ははじめから終りまで、すべてを非認して通した。いや事實を認めやうと思つたつて、認めやうがないのだ。何にも知らぬ僕はたゞ知らぬ知らぬと云ふより外はないのだ。それにも關はらず、豫審の結果は有罪と決定したのは何故であるか？

市川の一直園と云ふ、僕は一度も行つたことのない料理店で開催された、黨の幹部並に細胞代表委員の第一回大會に出席したといふ豫審決定を見たのは何故であるか？

言ふまでもなく、僕は當初から、社會運動の犧牲として入獄するならたとへ絞首臺の上に登ることも敢て、悔いないつもりであつた。

年末も押し迫つて、他の共犯者はすべて保釋出獄を許された後のことである。入獄以來一度も、調べらしい調べも受けなかつた僕を呼び出して、沼豫審判事は云つた。

『もうあつさりお認めになつ

先輩と辯解

荒井邦之介

過去の社會運動を振りかへりその失敗と成功とその理由とを正しく批判し研究する事は、今後の社會運動に善處するに最も必要な條件の一である。過去の運動を物語り化し、小說化して得々たる先輩（？）には勿論、過去の明白な失敗をも失敗と認める勇氣なく、失敗にあらざる理由をクド〳〵と辯解するに是れ日も足らずてふ先輩の態度に私は少からざる不滿を持つてる

普選に對する無産階級の過去の政策は、理由を述べるまでもなく確に失敗であつた。それだのに、その政策即ち、普選に對して、無關心の態度をとつて、選擧權獲得運動に出でなかつた事は、當時の社會狀態の必然の結果であるなどゝ詭辯を弄してる。先輩がる當時の社會狀態が如何なるものであるにせよ、反普選の政策は、當時のジャーナリストの醸成したもので、そのジャーナリストに情意投合した社會主義評論家と、その評論

てはさうですか？皆他の人は濟んでしまつて、あなた一人です最後まで殘られたんだから、いゝぢやありませんか」

「何を云つてるんだ。いゝ加減の證據で、何の關係もない者を檢擧して置きながら」

なんとかゝとか話してゐるうちに僕もかなり殺氣立つて來たのである。

「女中の證言なんか當てになるものか、第一拘留狀を出すときの證人は、石神井の豐島館の女中だつたのに、今度は市川の方になつてるのは不思議だ」

「いや、證據はいくらでもあるのです。また檢擧のことは檢事の認定によるのだから私の方は知りません。石神井の方だつてまだ一人足りないのだから、それがあなただかも分らないぢやありませんか」

「そんな證據ならいくらあつたつて駄目だ。女中が僕の眼の前で言つたんでもなし、蔭でどんなことをやつたのか知れたものか」

「何時までもそんなことは言はないで、男らしく認めになつたらどうですか。私の方でもちやんと確かりした證據があるから調べるんです」

「ではその確かりした證據とやらを見せて貰はうか」

「これを御覽下さい」

沼像判事はかう云つて一綴りの調書を僕の前に擴げた。

それは共犯吉川守邦氏の調書である。

「吉川さんが恁う言つてゐられます」と云ふ判事の言葉を聞き流して僕は調書の上に眼を走らせた。そこには確に僕が一直園の會合に出席して、近藤榮藏の細胞に屬してゐたと云ふことまで書いてある。

僕は實に意外だつた。吉川と云ふ人は今度獄中ではじめて知つたのである。名前は聞いてゐたけれども、まだ一度も顏を見たこともなかつたのだ。吉川氏だけではない、今度の共犯者となつた人のうちで僕が顏を知つて居たのは指を屈するほどしかないのである。

「これは出鱈目だ、そんな馬鹿な話しはない。それは吉川一人が言つたのですか？」

「さうです。でも吉川さんは規律委員長で會計幹事ですからそんな間違ひはないでせう。それればかりではない。これを見て下さい」

今度は仲曾根源和の調書を抜いて出した。

「市川へ集まつたのが十六人この通り一々名前を申立てゝあります。皆さんもそれを認められました。だが市川へ集まつたのは、どうしても十七人はなければならぬのです。ところが仲曾根さんはじめ皆、あとの一人を、忘れたとか、知らないとか返事がいかにもあいまいです」

「どうして十七人になるのか」

「その證據は」と云ひながら書記の方を向いて合圖をした。持つて來ものは料理屋の傳票である

（三）

こんなことを今更問題にしやうとは思はぬが、僕にはすべてが不思議に考へられるのだ。

僕一人が認めれば他に犧牲者を出さずにすむものなら、僕は甘んじて認めようと思つた。けれどもそれは裁判所が許さない。何故か判事はその一人を僕にして了ふことを好まないらしかつた。

僕は出獄後吉川氏に會つて訊ねた時氏は僕に市川の會合に行つた十七人のうちの一人が、事實他にあること、その人は現在、日本にあつて活動してゐるといふやうなことまで話された。

僕はその人が誰であるか強いて尋ねる氣もなかつたが、吉川氏の言ふことがあまり、あいまいで要領を得ないので、とにかく、絶對に秘密は守るから僕にだけ打明けてくれるやう繰返して要求して見た。すると氏はそれだけは、私一存で言ふわけに行かぬから堺の方へ話してくれとの事である。

堺氏は十七人のうちの一人を出さないために僕を犧牲にしたことを全然否認せられた。吉川が虛僞の申立をしたのは全然、吉川自身の一存でやつたことで吉川一人の責任である。そして斯う云ふ事になつたのは偶然の暗合であるさうである。しかし氏は尙次の樣に云はれた。

「あとの一人を今更出したところで、君がのがれると云ふわけにもゆくまい。徒らに犧牲者を殖やすだけに過ぎない。」

僕もその言葉には同感した。だが呑み込めないのは、吉川がどうして僕のことを喋べらねばならなかつたかと云ふことだ。

また共犯の一人である德田球一氏は市川の會合所一直園にはあの事件以前僕が屢々出入したことがある。と云ふことを豫審判事に云つたさうである。僕は一度も行つたことのない「一直園」がどんなところだか想像も出來ない。まるつきり事實にないことである。

家に盲從した自稱社會主義者（自分もその一人）にのみ關するものであつて、一般大衆とは全くかけはなれたものであつた。

斯の如き運動が失敗するのも、それがひいて、無產階級運動全體の進展の防害になつたのも當然の事である。

無產階級がこの失敗に善處する第一としては、先づその失敗であつた事を勇敢に是認する事である。失敗の是認――これがその失敗を再び操りかへさしめずに、反つてそれを成功へと導き得るのだ。その失敗を認識せず、クダ〳〵と失敗にあらざる詭辯を弄する事は、再びその失敗を操りかへす事だ。

失敗するのは何の恥辱でもない。唯、同一失敗を再び操りかへす事が何よりの恥辱だ。失敗は成功のもとだ。

十八歲以上の男女に平等に選擧權を與へよ。これが今後相當期間の間、無產階級運動の標語とならねばならない事を考へ、過去を振かへり、殊に現在のクダラナイ內輪喧嘩を見るに當つての感想一つ右の如し。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ここにかくいろいろ妙な事があるもので僕自身全く五里霧中に彷徨せざるを得ない次第である。細々したことを書けば限りがないから、先を急ぐが、僕が會つた範圍の共犯者即ち共產黨の人に言はせると吉川と云ふ男は馬鹿ださうである。なるほど馬鹿に違ひないと僕も思ふ。その後會つたとき吉川氏はまたこんなことも云つた。

「何もかも僕の責任になすりつけるなら、僕も考へがある。君一人のためでなくとも、僕はすべてを公判廷でさらけ出してやる」共產黨の連中が吉川を馬鹿にしながら怖しがつてゐるのもその爲だ。それならどうしてそんな男を黨員に加へたのか？僕にそんな質問をする權利は毛頭ないのであるが、こんなものをかりそめにも秘密結社などとよく云へたものだと僕は思ふ。

堺氏は僕に、現在有罪と決つてゐる者のすべてが事實に於てはさうでなく、關係がなくて犠牲となつた者は、僕以外に二人や三人はあると言はれたが、最近浦田武男君に聞くと絕對にそんなことはない、若し堺氏が事實そんなことを言つたのなら、堂々とその非を鳴らさねばならぬと云ふ話であつた。

僕は今その何れが事實であるかを斷定しやうとは思はぬ。しかし嘗て堺氏は雜誌改造紙上で發表された如く、吉川の噓僞の申立の理由を、あのまゝ肯定して疑ひなしとされるならば、僕は氏の眞實を受け入れるに躊躇せざるを得ないのである。

豫審調書には僕の見たところによるとそんなことは書いてなかつたやうだし、第一この馬鹿が、豫審判事から保釋で出してやると云はれたからと云つて、それを眞にうけてその結果がどうなるかさへ考へず（考へればそんなことが言へるはずはないのだ）早く出して正月をさしやり度いなど變な好意が出てくるのか、常識で考へても解ることである。

堺氏は有力な人であり、「改造」は有名な雜誌である。僕にはそれを反駁するだけの必要もなし、力もないが豫審判事に頌德表を奉つた堺氏がこのために裏切られたと云ふのも滑稽である。

お蔭で僕は今年の二月、豫審がすむ頃まで出獄も出來ないし、出獄しても豫審の結果有罪で、保釋、公判になつても辯護士に事缺く次第である。

（四）

まあそんなことはどうでもいゝとして、その當時、新聞屋などが、面白半分に、「堺のレニン」、佐野のチチエリン誰それのトロツキー」云々と書いたことなどを思へば共產主義そのものゝため、默つて居れないやうな氣がする。

堺氏は日本に於て、三十年來の社會主義者である。堺氏が日本の社會主義をして現在の勢力あらしめたのか、社會主義が堺氏をして現在あらしめたか、僕は知らない。

けれども今後の運動が、共產主義を目標として無產階級の大衆組織を必要とするならば、堺氏一人乃至一派を顧んで現狀に甘んじ滿足することが出來るであらうか。

這般の共產黨事件、並に震災當時暴露せられた一般民衆の無理解、政府の壓制、殘虐等最も有力にこの問題に對する解答を與へるものである。久しい以前から問題となつてゐる方向轉換論の如き、今尚概念論の域を脫せざるは、この點に自己欺瞞の種を含んでゐるがためではあるまいか？

僅か二十數人の黨員さへ結束出來ずして、大衆の中へだの、方向轉換だのと云つて見たところで少々持てあましものの感が無きにあらずである。然も殘虐なる反動運動の犠牲が、却つて共產黨のお歷々以外より續出するが如き、人をして惑はしむるに充分ではあるまいか。

戰略は戰略として、それが社會革命に立脚してこそ意義がある。單にある個人、或は一部徒黨の利己的慾望から案出されるとき、それは必然に、日和見主義運動ブローカー、進んでは反革命に墮落する外ないのである。

今茲に、僕は日本に於ける共產主義運動のタクチクにまで說き進むべく、その適任者でもなし、またその機會でもないから差し控ゐることにする。しかしモスコウへ出鱈目な報告をしておきながら、そのインスチションのまゝ動くことは、運動を誤る原因である。それは却つて、內味方を僞ると同時に、外、敵の逆宣傳に乘ぜられる所以ではあるまいか。

今度の共產黨事件が、組織的に計畫され組織的に檢擧され、組織的に自白した（勿論この組織的と云ふのは比諭的な意味に於て用ゆるのだが）感があるは實に文化的秘密結社の名に背かざるものと云ふべきであらう。

（終）

或る兵營から

入營以前一かどのアンチミリタリストの樣な顔付をして居るものも、一度兵營の營門をくぐつてあの茶褐色の軍服を着せられたが最後、軍隊に對する傳統的の恐怖心のためか、以前の事知らぬ顔半兵衛を極め込む。又事實について見てゝ○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○
○○

然し何時迄もこんな事を言つては居られない。時は遠慮なく過ぎて行く、事態はどしどし變化する。俺達が與り得らない所謂偉い人達の考で、動員令が飛び出したが最後、如何ともする事は出來ない。○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○

（L、M、生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近世社會主義史（一）

―初期のフランス社會主義―

春田正

社會主義を理解するにはその歷史を知る事が極めて肝要である。この意味でカーカツプの「社會主義史」は好個の著述である。我々は此處にその要譯大意を連載することにした。

序言

近世社會主義は二大革命の嫡子である――即ち十八世紀末來英國に最初に起つた產業革命と、それからそれと並行して同時代に起つたフランス革命との合の子である。英國に於ける社會主義の創始者オーエンは產業革命の影響の下に生れたものであり佛蘭西に於ける社會主義創始者サン・シモン及びフーリエはフランス革命の影響の下に生れたものである。

社會主義は一八一七年を以てその起原とする事が出來る。この年にオーエンはその社會主義社會の計畫を下院貧民法委員會に呈出し、この年にサン・シモンの思索は明かな社會主義的方向を探るに至つた。

社會主義史の概略は極めて簡單である。一八五〇年迄は英佛兩國に運動があつた丈である。佛蘭西に於てはサン・シモン、フーリエの後にはプルードンとルイ・ブランに依つて代表され英國に於てはオーエンの後にはモーリス、キングスレー等のキリスト教社會主義者に依つて代表されて居た。

然るにその次の時期に入るとドイツ及びロシアの社會主義者の活躍となつて來る。殊にドイツ社會主義の開祖カール・マルクスの活躍である。而して現今の世界の社會主義は主としてこのマルクスの影響の下に在るものである。マルクス以後の社會主義運動はマルクス主義の確定か或は修正の歷史である。此の如くにして時代は現在にまで進んで來る。

そして最近に至つてロシアのボルシエビキ革命となり、英國勞働黨の組閣となる。

回顧し來れば興味津々盡きざるものがある。

サン・シモン

初期社會主義の創立者は一七八九年のフランス革命の初發時代の特徵たる極端な樂觀主義の影響の下に成長した。彼等は人類の進步完成の可能性を過信した。彼等はダーヴィン說による社會進化の法則の眞理を知らなかつた。こはその時代の他の思想家と共に、初期社會主義者の一大短所であつた。

コムトヘンリ、デ、サン・シモンはフランス社會主義の創立者である。彼は一七六〇年巴里で孤々の聲を擧げた。彼は名門の出であり、冒險的經歷を持つた人間であつた。十九歲の時アメリカ大陸の獨立戰爭に他の貴族と共にアメリカを援けた。青年時代彼は野心を熱追したものだつた。フランス革命當時彼は重大な役割を演じなかつた。從つて絞首臺の危險は無事に免がれ得た。而して土地投機によつて少しく產をなしたが、四十歲の時不幸な結婚によつて悉く財を失つた。晚年彼は窮乏の中に彼の生命の殘餘を過ごしたのであつた。一八二五年に彼は此の世を去つた。

思想家としての彼は、全く體系と明瞭と勢力に缺けて居た。彼の著述（一八〇三――一八二五）は概ね僅かの思想を繰返したものに過ぎなかつた。とはいへ彼の意見は天才的で、獨創的のものであつた。而もフランス社會主義の歷史的創立者として或は後世のコムト哲學への暗示者として、彼の近代思想に及ぼした影響は多大なものであつた。

社會改造に關する彼の思想は甚だ簡單なものであつた。彼の意見はフランス革命及その頃まだフランスに存在して居た封建主義、軍國主義に對して建てられたものであつた。彼は革命の破壞的自由主義に反對して新しい積極的社會改造を主張した。而も彼はルイ十八世に訴へて之をなさしめようとした。彼の唱ふる所は近世科學に依つて指導せらるゝ產業國家であつた。而して彼に依れば生產の支配をなす產業首長が社會を支配すべきであつた。蓋し社會の目的は物を有用にするにある。社會的行爲の最後の目的は『共同による地球よりの搾取』であつた。後世社會主義の強く主張する勞働と資本の對立の如きは、サン・シモンには表れて居なかつた。

後彼の大著『新キリスト教』を著はすに至つて非常に宗教的形態をとるに至つた。即ち『人々はお互に兄弟の如くに振舞ふべし』といふ彼の教義は、後に至つてサン・シモン派の宗教的要素となり、社會革命の合言葉となつた。

彼の生前に於ては彼の意見は反響が微かつた。死後主に彼の弟子バザールの力によつてその說は著しき進步をなした。此

處にその主要點を述べて見よう。

彼等の唱ふる所によれば、將來の社會的發展の基調は結合の原理である。『人間による人間の搾取』を廢して『結合せる人間による地球の搾取』をその目的とする。從つてあらゆるものの世襲廢止と、資本の社會有を主張する。又彼等は『功績と能力』を特に強く主張した。『彼の能力に應じて、彼の仕事に應じて』とは有名な彼等のモットーである。斯はその職務と報酬に對する彼等の觀念であつた。彼等は又婦人も亦男子と同じ立場に置かるべきを主張した。卽ち『社會的個人』とは宗教國家及家族の三層機能の中に結合せる男子及女子の謂ひである。

サン・シモン學派の長所短所は說明の用のない程明かである彼等の唱ふる社會の疾病の範圍輕重は明瞭を缺く。從つてその診斷及療治はあまりに皮相であり早計に過ぎた。斯くの如く根深き機能の不秩序は斯んな魔術杖の一振りで拂ひ除けられるものではない。一言以て被へば、あまりに空想的で且つ突飛すぎた。此の派の長所は社會秩序を見るに、その要素をつかんだ所にある。而も現存物に對する批判は常に力強く獨創的であつた最後に汚濁社會の嘲笑忿怒の中にあつて常に節操を持續し希望を失はなかつたといふことは特筆大書すべきことである。

フーリエ

フーリエの社會主義は多くの點に於て、サン・シモンとは根本的差異を持つて居た。我々はこの兩者の間に社會主義の反對の二傾向を見る。サン・シモン派は權力主義、中央集權主義を代表して居るが、フーリエは地方的個人的自由に對して極度の幻想を畫がいた。前者は國家をその出發點とし標準とし、統治力としたのに對して、後者は所謂ファレーンヂと稱する地方自治體を採用した。

フーリエは一七七二年フランス東部、ベサンコンで生れた。彼の父は繁昌せる織物商であつたので彼は其の土地の大學教育を受けることが出來た。後はオランダ、ドイツを行商してリヨンに定住した。革命當時彼は辛うじて絞首臺の憂目を見ずに濟んだ。彼幼時より心中競爭制度を呪つた。二十七歲の時彼は資本主義の競爭制度がもたらすあらゆる不合理を徹廢することを生涯の仕事としようと決心するに至つた。生前彼の說は一般に用ひられず僅かの贊同者を得るに過ぎなかつた。彼は一八三七年に死んだ。

フーリエは神は總てのものをよく造り給ふたが人間が創造者の目的を理解し遂行することに失敗したのであると考へた。我々の大なる誤謬は自然的なる衝動を惡なりとなすにある。我々の衝動に自由を與へ、自然的に進行せしめなければならないといふのが彼の主張である。此の具體的計畫を我々は彼のファレーンヂの中に見る。

それは四百家族千八百の人數から成り立つて居て、正方形の地に住み、廣い、美しい、便利な一つの建物の中に住むのである。此處では彼等は共に生活し好みに從つて農業又は工業方面に働くのである。若し單獨を好むものがあれば彼等の思ふに委せた。併し其處には嫉妬疑惑を存せしめない。社會生活は極めて自然になされる。役員は自らの志望による。勞働は科學的であり興味あるものである。而して困難な仕事には多くの報酬が伴ひ、不愉快な仕事は多く機械の力を藉りる。私有資本は許されるが利益は固定した割合で受ける。ファレーンヂで生產されたものは適當にお互の間に分配され、殘餘は勞働と資本と、才能に依つて分配される。中でも殊に明記すべきはその結果より來る婦人の經濟的獨立である。

フーリエの此の制度は嘗て人間によつて考へられたものゝ中で最も優れた進步した理想鄕であつた。然し乍ら大じな點に於て、人間性と社會進化の法則とに就て教ゆる人類の經驗と科學とに全く矛盾して居た。

而も尙彼の成した所のものは十分暗示と教訓に富むものであり、永く經濟學者の研究に値するものである。彼の浪費や無政府や不道德等の旣存制度に對する批判眼は甚だ發明的であり、且屢信服するに足るものである、又彼の積極的計畫の中には人類進步、未來の特徵に就ての聰明にして先見的なる豫言がある。その最も注目に値するは個人的自由及び地方的自由の保證である。先のファレーンヂは一方にはその科學經營及び共同生活の利益を充分確保することが出來ると共に、他方には中央集權主義、國家專制主義、誤つた愛國主義、國家的嫉視等に對して備へるためのものであつた。而して更に個人及び少數者の自由はこのファレーンヂの橫暴からも又保證される樣に出來て居る。斯る點は後世の所謂『科學的社會主義』の遵奉者に對して甚だ必要なる教訓を暗示するものである。

如何にもフーリエの考へは結局空想的であつて、現代それを實行したら忽ちにして社會的混亂を來す性質のものであるけれ共然し乍ら遠き將來に於てこのフーリエの理想社會が來るかも知れない事は考へられる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室

大阪より

▼本社へ來て編輯は始めてだが、漸く出來上つたのが此の通りだ。是非は讀者の批判に俟つ。

▼「進め」は眞正社會主義の立場に○○○而して此の主義を讀者諸君に鼓吹せんとするものである。

▼近頃進め社では、擊劍、鐵彈投げ、鐵アレーを練習してゐる。而して水泳は淀川の眞只中で炎天を截いて猛練習だ。

▼鐵アレーの名手は何と云つても十人力の斜木軍吉君で五十磅の恐ろしく重たいやつを十三回休まずにさし上げると云ふのだから人の膽を拔くものがある。是も一は腕力の鍛錬に外ならぬ。

▼「進め」は眞正社會運動の立場より、偏黨的閥族的社會運動を極力排す。是は神聖なる無產階級の戰線を防害するものであるからである。社會運動は職業的社會運動者の專有物ではない。寧ろ無名青年の力に待つべきものなのだ。故にこんな手合は以後ドシ〳〵退治する筈だ。

▼終りに臨んで、執筆寄稿されし諸君にお詫びせねばならないことは原稿が案外澤山集つたために、ここに市電罷業を批判した原稿が机上に山積したために、折角送つて下さつた諸君の玉稿を八月號本誌へ載せ得なかつた分の出來たことだ。だが、どうぞ僕達の得手勝手を許して下さい。この點は、待に編輯の任に當つてゐる僕が平に陳謝いたします。(佐藤光敏)

▼讀者諸君。私は、編輯室を出て當分靜養することにします。私の故鄕なる三河の海邊へしばらく歸ります。鋏と糊と紙片の雜務から靜かな讀書生活へと私は我身を運んで行かうと思ひます。しかし、私が、果してそういふ靜觀に何時までも堪へられるか自分でも頗る疑問です。私はやつぱり本當に巷の見だかもわかりません。その時が來たら飛び出します。

▼その時は、街頭に於いてか、或は雜誌を通じてか、また諸君と相見ゆるの日です。その前にも據つたものを何か書きたい考へです。さらば、「進め」三萬の讀者諸君よ。健在なれ。(紳道)

▼東京の赤阪「浪宅」にもぐつてゐる處へ突然、福田狂二が關羽ヒゲの面を現はして、大阪へ行かないかと云ふ。僕は「座談會」といふ東京での仕事を有つてゐる身体だからイヤだと斷る。押問答の末、とうとう引つ張り出されて、汽車に乘せられて、いい加減ダダをこれてゐる間に大阪へ來てしまつた。どうだれと、關羽が微笑しながら云ふ。大阪の空は相不變煤煙でドス黒かつた。何故か來てよかつたと僕は答へずにはゐられなかつた。

▼編輯は十八才の佐藤君がテキパキとやつて呉れるので、僕は懐手してゐてもよかつた。横になりながら見てゐるだけで、立派にやつてのけられて行くのであつた。この分ぢや安心だと面倒臭がりの僕は何より先づ重荷をおろしたようにこの事でホツとした。

▼それから、誌面の都合で、石川準十郎君の「社會主義に對する誤解批難」や小川未明さんの「無產階級の娘」などいふ創作やらを次號へ廻さねばならなかつた。その他の諸君も、どうぞかんべんして下さい。何しろこんなウスツペラな小雜誌のことで、今の所、人間ワザぢや何とも致し方がないのだから。(岩)

東京より

▼社會主義を實際勢力たらしめんがためには社會主義者は「レベルを下げる」よりは、實は常に科學的態度を以て社會事實に臨まねばならない。私にはどうもこの「レベルを下げて……」と云ふ人達の氣持が分らない。この人達はどんなに高いレベルに居るのだらうか。

▼社會主義が仲々實際勢力になり得ないとしたら、その理論乃至運動のどこかで急所を外れて居るに違いない。要はその急所を見つける事だ。

▼岡陽之助事岩澤岩兄は編輯のため福田氏と共に下阪した。今頃はさぞあの室のあの机で、而してあの格好で原稿と首つ引だらうと考へておかしくなる。オイどうだ、大阪も暑いか、さぞ辛いだらう。が、こちらの原稿集めの僕も辛かつたぞ。

▼大阪の進め社ではこの頃又勇士が增へたさうだが信愛なる陽之助よ。うつかり例の鐵アレーなんか擔がせられるなよ。怪我するからな。マラソンもやるな。負ける許りだ。擊劍もやるな。撲られる許りだ。無事で歸つて來て呉れ。(石川)

▼私は今度から進め社同人として諸君と見ねることになつた。短才愚鈍は私自身常に嘆ずる所である。唯私は諸君と共に眞面目であり度い。そして遇然迷ひ込んだ概念戲弄者や、流行觀念追隨者流とは亦の他人であり度い。皮相と輕薄と衒學とは社會主義とは何等の關係のないものである。

▼人間は時代の魔術の杖に打ひしがれ易い。眼前を來往する有象無象は我々に錯覺と誤謬を强ひる。我々は廣く團結することに依つてのみ此等の危險から脫し得る。全世界の無產者よ、團結の力を自覺せよ、全世界は我等に向つて動きつゝあるではないか!!(春田正)

東京市外幡ヶ谷一〇七一
未來と青年社
月刊 未來と青年
(一部五錢)

鳥取縣米子町角盤板角
農民組合山陰聯合會
月二回 農民新聞
(一部五錢)

東京市小石川區掃除町三十二
月刊 自由論攻
(一部三十錢)菊判八十八頁

東京市外世田ヶ谷太子堂二八六
民衆運動社
民衆運動
(一部十錢 一年一圓)

京都市竹屋町日暮西入
青年同盟
巨炎
(一部十錢)

東京芝區三田四國町二
日本勞働總同盟本部
月刊 勞働
關東同盟機關紙
(組合員外一部二十錢)
電話高輪三三九〇番
振替東京三一五十番

大阪市北區西野田江成町
勞働者新聞社
半月刊 勞働者新聞
日本勞働總同盟
關西同盟會機關紙
(一部五錢)

大阪市北區西野田江成町
日本農民組合本部
月刊 土地と自由
日本農民組合機關紙
(一部十錢)

大阪市南區四濱北通三丁目
選民社
月刊『選民』
全國水平社青年同盟機關紙
(一部五錢)郵稅五厘

東京府下上駒込染井八
振替東京五〇五八五番
鑛山勞働者
全日本鑛夫總同盟機關紙
(一部二十錢)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

平岩巖氏編

高尾平兵衛と其遺稿

一部十五錢（送料二錢）

（既刊）繪葉書及寫眞版數葉

近日出版

平岩巖氏編

同志高尾平兵衛

菊判 二百頁

神近市子、中村還一、鈴木厚寄稿遺稿全部記念寫眞

一部壹圓

東京市外幡ケ谷一〇七一

戰線同盟

「民衆運動パンフレット」

吉田一氏著

◆レーニン會見記

三十二頁 一部十錢（税二錢）

松本一氏著

◆フエビアン協會と其綱領

四五版 四十六頁 美本 定價十五錢

發行所 東京市外世田ケ谷太子堂一八六

民衆運動社

社會問題納涼講習會

日本フエビアン協會

日本フエビアン協會では、六月より本部に勞働問題講習會を開き、七月は學生聯合會と共同で本部の外向島、隅田町、本所三笠町、大森の四ケ所に勞働講習會を開いたが、九月からは東京勞働學校を永續的に經營することなり經營及講師に學生聯合會及社會思想社の援助を受けることになつた。尚八月は左の「社會問題納涼講習會」を開く。

場所 京橋區越中島六番地勞働會館納凉臺
月島線越中島下車鉄葦京海島中第一の勝地

期間 八月十六日より廿二日迄一週間
七時より十時迄 （休憩二回）

料金 全期前納壹圓 一科（一夜）三十錢

◆科目及講師

社會主義經濟と資本主義經濟（十六日法大教授小林輝次元早大教授猪俣津南雄）英國勞働黨と無產政黨（十七日帝大教授蠟山政道、中大教授川原次吉郎）文藝の社會的意義（十八日菊地寬、秋田雨雀）勞働組合の任務と其組織（十九日赤松克麿、石川三四郎）法廷訴訟と勞資協調（廿日山崎今彌彌、三輪壽壯）日本社會思想史（廿一日早大教授北澤新次郎、靑野季吉）國際團体の現況（國際勞働日本局長淺利順四郎、早大教授椎名其二）但し以上には交涉中なるも未確定のものあり

申込所 會場又は東京芝新櫻田町一九日本フエビアン協會事務所

科目―政治・經濟・宗教・法制・社會學・勞働問題

日本勞働學院生徒募集

九月一日第二學期開講　月謝壹圓五十錢

東京下谷竹町二九（市電西町下車 省電上野驛下車）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仁は人の安宅なり

義は人の正路なり

進め社法律顧問

赤坂溜町一丁目一番地(辨慶橋前)

辯護士
辨理士
法學士

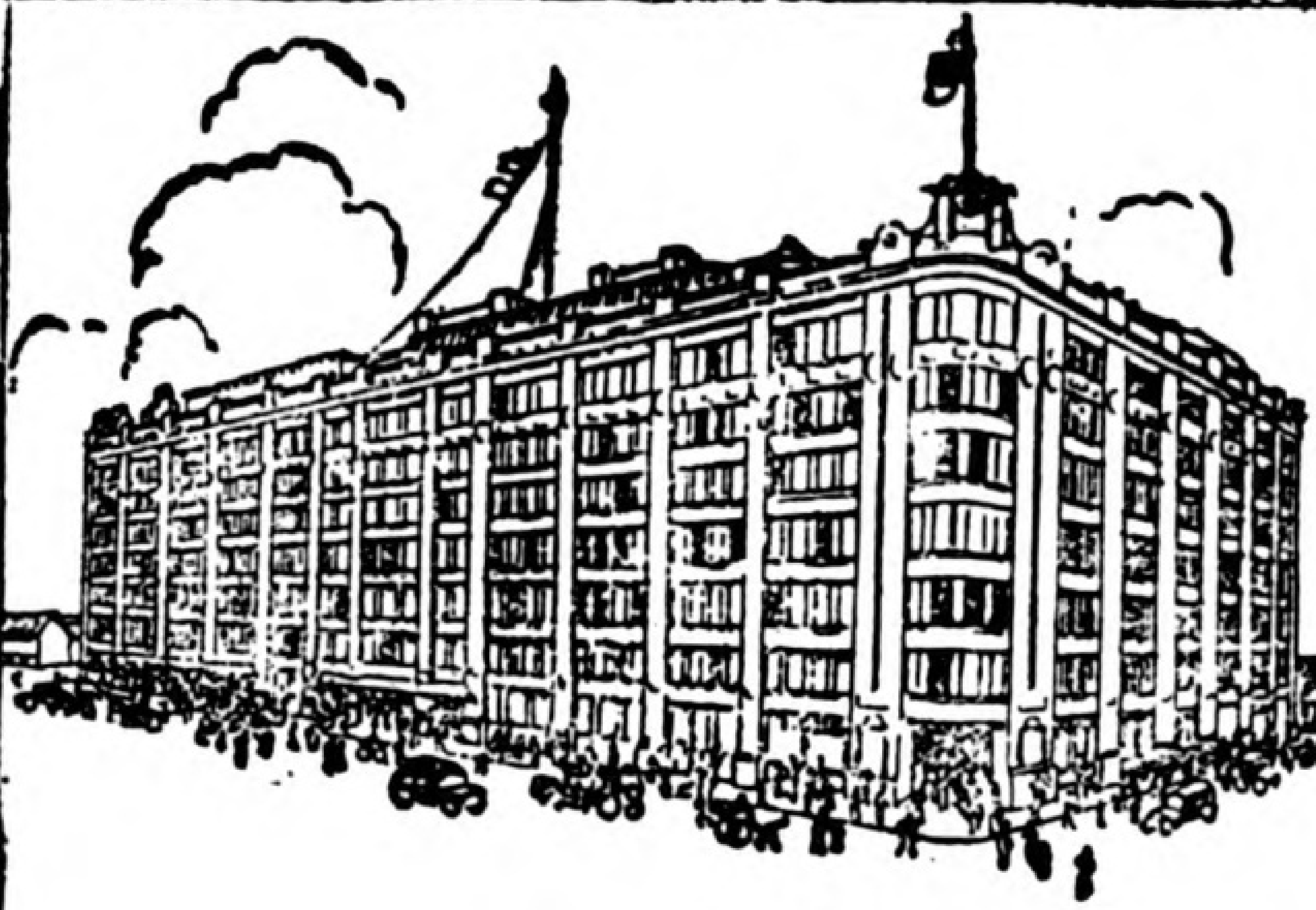
久保山武雄

電話高輪五〇五四番

鐘淵紡績株式會社

本社 東京府隅田村

支店 兵庫東尻池



三つの優越點と 三つの誇りと

三越の商品は、品質の優良さ、量の正確さ、そして値段の低廉さといふ三つのいつも变らぬ優越した點を持つてをりますのみならず、常に斬新さ、實用さ、趣味の三つの特長を誇りと致してをります。何卒十分御吟味の上多少に拘らず御用命の程偏に希上げます。

◇地方よりの御註文は御手紙にて「通信販賣部」宛に願ひます。叮嚀迅速に御調達申上げます。

大阪 **三越呉服店**

社會主義
社會問題
勞働問題
婦人問題

圖書雜誌
パンフレット
リーフレット
販賣店

「進め」大賣捌所

神戸市湊川町二丁目十六番地
支店 湊川公園前百貨店廿一號

上西書店

上西一郎

【目録要二錢】

The Su-su-me. -Socialists Monthly.-
Head office Yebie Nishinoda Osaka

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可 毎月一回 定價 一部 十錢(税五厘) 半年六十錢 一年一圓(税共)
發行所 大阪市外鷺洲町海老江一〇七八 進め社
發行兼編輯印刷人 福田狂二